

平成 26 年度 奨学金の返還者に関する属性調査結果

独立行政法人日本学生支援機構
奨学事業戦略部奨学事業戦略課

< 目 次 >

I 調査の概要

II 調査結果

基礎情報

1. 奨学生本人の性別
2. 奨学本人の年齢
3. 奨学生本人の居住地域
4. 奨学金の種類
5. 奨学金の貸与学種

1 回答者および奨学金申請に関すること

- | | |
|---------------------|-------|
| (1)回答者 | 表 1-1 |
| (2)回答者と保証制度との関係 | 表 1-2 |
| (3)奨学金申請時の書類作成者 | 表 1-3 |
| (4)奨学金の申請を勧められたか | 表 1-4 |
| (5)だれに奨学金の申請を勧められたか | 表 1-5 |
| (6)奨学金申請を決めた時期 | 表 1-6 |
| (7)返還義務を知った時期 | 表 1-7 |

2 主な返還者について

- | | |
|-------------------------|---------------|
| (1)主な返還者 | 表 2-1 |
| (2)奨学生本人以外の場合の主な返還者との関係 | 表 2-2 |
| (3)奨学金を返還するための原資 | 表 2-3 |
| (4)主な返還者と回答者との関係 | 表 2-4-1～2-4-2 |
| (5)主な返還者と学種との関係 | 表 2-5-1～2-5-2 |

3 本人の職業について

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1)本人の職業 | 表 3-1-1～3-1-4 |
| (2)本人の職業と学種との関係 | 表 3-2-1～3-2-2 |

4 本人の年収について

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1)本人の年収 | 表 4-1-1～4-1-6 |
| (2)本人の年収と学種との関係 | 表 4-2 |

5 延滞の理由と今後の返還の見通しについて（延滞者のみ回答）

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| (1)延滞が始まった理由(きっかけ) | 表 5-1-1～5-1-3 |
| (2)延滞が継続している理由 | 表 5-2-1～5-2-2 |
| (3)延滞が始まった理由(きっかけ)と継続している理由との関係 | 表 5-3 |
| (4)延滞が継続している理由と主な返還者との関係 | 表 5-4 |
| (5)延滞が継続している理由と年収との関係 | 表 5-5 |
| (6)延滞が継続している理由と職業との関係 | 表 5-6 |
| (7)今後の返還の見通し | 表 5-7-1～5-7-5 |

6	返還期限の猶予制度について	
	(1) 猶予制度の認知状況	表 6-1-1～6-1-2
	(2) 猶予制度の認知状況と年齢との関係	表 6-2-1～6-2-2
	(3) 猶予制度の認知状況と年収との関係	表 6-3-1～6-3-2
	(4) 猶予制度の申請状況	表 6-4
	(5) 猶予申請しない理由（過去に利用あり）	表 6-5
	(6) 猶予申請しない理由（一度も利用なし）	表 6-6
	(7) 猶予制度をどこから知ったか	表 6-7
	(8) 猶予制度の猶予期間の長さ	表 6-8
7	奨学金返還のための振替用口座（リレー口座）による返還状況	
	(1) 振替用口座（リレー口座）加入の有無	表 7-1
	(2) 振替用口座（リレー口座）の名義人	表 7-2
	(3) 口座名義人（奨学生本人以外）の保証制度との関係	表 7-3
	(4) 振替用口座（リレー口座）のその他の用途	表 7-4
	(5) 振替用口座（リレー口座）への入金状況	表 7-5
8	無延滞者のこれまでの返還状況	
	(1) 延滞経験の有無	表 8-1
	(2) 延滞になったことを知ったきっかけ	表 8-2
	(3) 延滞の解消方法	表 8-3
	(4) 延滞をより早く解消できたと思われる返還方法	表 8-4
9	日本学生支援機構の奨学金制度の認知状況	
	(1) 減額返還制度の認知状況	表 9-1
	(2) 繰上返還制度の認知状況	表 9-2
	(3) 個人信用情報機関への登録の認知状況	表 9-3
10	各種情報提供の利用等状況	
	(1) スカラネット・パーソナルの認知状況	表 10-1-1～10-1-2
	(2) 日本学生支援機構送付文書類の閲覧状況	表 10-2-1～10-2-2
	(3) 日本学生支援機構のホームページ閲覧状況	表 10-3-1～10-3-2
11	日本学生支援機構の奨学金に対する意識	
	(1) 日本学生支援機構からの情報提供	表 11-1
	(2) 日本学生支援機構の奨学金に対する意識	表 11-2-1～11-5

<調査票>

奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い（延滞者用）

奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い（無延滞者用）

(注意)

- 1 各表は無回答・不明を除いた比率で集計している。
- 2 単位は人である。
- 3 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
- 4 複数回答可の設問に関する表の各回答の比率は合計しても 100%にならない。
※ 各回答の比率は回答者数に対する比率である。

I 調査の概要

1 目的

奨学金の延滞者および無延滞者の属性を把握し、今後の奨学金回収方策に役立てることとする。

2 調査対象

- (1) 平成 26 年 11 月末において、奨学金返還を 3 か月以上延滞している者（以下「延滞者」という。）を延滞年数および性別で層化し、無作為抽出した 19,518 人。
- (2) 平成 26 年 11 月末において、奨学金返還を延滞していない者（以下「無延滞者」という。）を学種および性別で層化し、無作為抽出した 9,649 人。

3 調査方法

質問を記入した調査票を送付のうえ、返信用封筒により返送を依頼した。

4 調査時期

平成 27 年 1 月

5 回答受入状況

	抽出人数	回答人数	回答率	参考母数(平成 26 年度末)
延滞者	19,518 人	3,764 人	19.3%	173,190 人
無延滞者	9,649 人	2,170 人	22.5%	3,296,320 人

※ 回答人数には無回答・不明回答を含まない。

(参考) 平成 26 年度末現在の状況

① 返還を要する者（返還期日到来分のみ）	3,624,706 人
② 返還している者	3,296,320 人
③ 1 日以上の延滞者	328,386 人
④ 3 か月以上の延滞者	173,190 人

※ 本調査は、延滞者のみならず無延滞者の属性についても把握することを目的としているため、今回の調査より調査タイトルを「奨学金の延滞者に関する属性調査」から「奨学金の返還者に関する属性調査」に改める。

II 調査結果

基礎情報

1 奨学生本人の性別

(単位:人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
男性	2,126	56.5%	1,061	48.9%
女性	1,638	43.5%	1,109	51.1%
計	3,764	100.0%	2,170	100.0%
不明	0		0	

2 奨学生本人の年齢

(単位:人)

年齢(歳)	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
～24	134	3.6%	444	20.5%
25～29	738	19.6%	883	40.7%
30～34	1,190	31.6%	552	25.4%
35～39	661	17.6%	206	9.5%
40～44	509	13.5%	56	2.6%
45～49	331	8.8%	20	0.9%
50～	200	5.3%	9	0.4%
計	3,763	100.0%	2,170	100.0%
不明	1		0	

3 奨学生本人の居住地域

(単位:人)

地域	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
北海道	189	5.0%	88	4.1%
東北	302	8.0%	193	8.9%
関東(東京除く)	576	15.3%	414	19.1%
東京	377	10.0%	216	10.0%
甲信越(山梨、長野、新潟)	95	2.5%	99	4.6%
東海(静岡、愛知、三重、岐阜)	231	6.1%	245	11.3%
北陸	54	1.4%	38	1.8%
近畿	673	17.9%	386	17.8%
中国	220	5.8%	127	5.9%
四国	113	3.0%	67	3.1%
九州・沖縄	934	24.8%	297	13.7%
海外	0	0.0%	0	0.0%
計	3,764	100.0%	2,170	100.0%
不明	0		0	

4 奨学金の種類

(単位:人)

種別	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
第一種	2,138	56.8%	898	41.4%
第二種	1,336	35.5%	1,054	48.6%
両方	290	7.7%	218	10.0%
計	3,764	100.0%	2,170	100.0%
不明	0		0	

5 奨学金の貸与学種

(単位:人)

学種	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
高等学校	961	25.5%	32	1.5%
高等専門学校	13	0.3%	92	4.2%
短期大学	292	7.8%	142	6.5%
大学	1,800	47.8%	1,244	57.3%
大学院	161	4.3%	279	12.9%
専修学校専門課程	530	14.1%	329	15.2%
専修学校高等課程	7	0.2%	52	2.4%
計	3,764	100.0%	2,170	100.0%
不明	0		0	

1 回答者および奨学金申請に関すること

(1)回答者（択一）

延滞者では「奨学生本人」が回答している割合は 63.1%であるのに対し、無延滞者では 72.5%で無延滞者の方が高い。一方、延滞者では「本人の父母」が回答している割合が 33.5%で、無延滞者の 26.6%を越えて高い。

表 1-1

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,368	63.1%	1,572	72.5%
本人の父母	1,258	33.5%	577	26.6%
本人の兄弟姉妹	16	0.4%	3	0.1%
本人の祖父母	8	0.2%	0	0.0%
本人のおじ・おば	3	0.1%	0	0.0%
本人の配偶者	91	2.4%	17	0.8%
その他	6	0.2%	0	0.0%
計	3,750	100.0%	2,169	100.0%
無回答	14		1	

(2)回答者と保証制度との関係（択一）

(1)で「奨学生本人」以外と回答した者に、保証制度との関係を質問した。

延滞者、無延滞者ともに「連帯保証人」と回答した者が約半数となり最も高い。延滞状況による大きな差はみられない。

表 1-2

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
① 連帯保証人である	662	49.1%	283	48.0%
② 保証人である	386	28.6%	140	23.7%
③ 機関保証の「本人以外の連絡先」である	51	3.8%	42	7.1%
④ 「①～③」の二つ以上にあてはまる	68	5.0%	61	10.3%
⑤ 「①～④」にあてはまらない	114	8.5%	35	5.9%
⑥ わからない	67	5.0%	29	4.9%
計	1,348	100.0%	590	100.0%
無回答	34		7	

(3)奨学金申請時の書類作成者（択一）

奨学金を申請時に実際に書類作成等をした者について、延滞者では「奨学生本人」33.6%と「本人と親等」19.7%の合計は 53.3%で、約半数の者しか申請時の書類作成に本人が関わっていない。無延滞者では「奨学生本人」55.4%と「本人と親等」22.3%の合計は 77.7%となり、4分の3の者が申請時の書類作成に本人が関わっている。奨学金申請時から書類作成を通じて本人が主体的に関わっていない場合は、関わっている場合に比べて延滞となる傾向があることがうかがえる。

表 1-3

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
本人	1,232	33.6%	1,196	55.4%
親(または祖父母等の家族、親戚)	1,382	37.7%	425	19.7%
本人と親等	723	19.7%	480	22.3%
わからない	301	8.2%	55	2.5%
その他	30	0.8%	1	0.0%
計	3,668	100.0%	2,157	100.0%
無回答	96		13	

(4)奨学金の申請を勧められたか（択一）

親、教職員や友人・知人などに勧められて奨学金の申請をした者は延滞者、無延滞者ともに6割を超える。ただし、無延滞者では「勧められなかった」者が25.8%であるのに対し、延滞者では15.9%となっている。無延滞者の方がより主体的に手続き係わっているといえる。

表 1-4 (単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
勧められた	2,270	62.9%	1,425	66.2%
勧められなかった	573	15.9%	555	25.8%
わからない	768	21.3%	172	8.0%
計	3,611	100.0%	2,152	100.0%
無回答	153		18	

(5)だれに奨学金の申請を勧められたか（択一）

(4)で奨学金の申請を「勧められた」と回答した者に、申請を勧めた者について質問した。延滞者では「親」から勧められたと回答した者は57.4%であるのに対し、無延滞者では83.1%で無延滞者の方が25.7%高い。一方、延滞者では「学校の先生や職員」と回答した者が37.4%で、無延滞者の14.4%に比べて23.0%高くなっている。本人または親が主体的に申請した者に比べて、学校の先生等の勧めにより申請をした者が延滞となる傾向があることがうかがえる。

表 1-5 (単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
親(または祖父母等の家族、親戚)	1,296	57.4%	1,182	83.1%
学校の先生や職員	844	37.4%	205	14.4%
友人・知人・その他	119	5.3%	35	2.5%
計	2,259	100.0%	1,422	100.0%
無回答	11		3	

(6)奨学金申請を決めた時期（択一）

大学、短期大学、専修学校（専門課程）で奨学金の貸与を受けた者に、奨学金申請を決めた時期を質問した。延滞者では「高校卒業後」と回答した者が38.8%で最も高く、無延滞者では「高校3年生の時点」と回答した者が44.0%で最も高い。

表 1-6 (単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
高校入学より前	119	4.2%	111	5.6%
高校1年生の時点	86	3.1%	67	3.4%
高校2年生の時点	84	3.0%	111	5.6%
高校3年生の時点	1,036	36.8%	878	44.0%
高校卒業後	1,093	38.8%	723	36.2%
わからない	397	14.1%	105	5.3%
計	2,815	100.0%	1,995	100.0%

(7)返還義務を知った時期（択一）

延滞者では「申込手続きを行う前」に返還義務を知った者は、過半数以下の49.5%であるのに対し、無延滞者では90.3%で無延滞者の方が40%以上高い。一方、貸与終了後に知った者は、延滞者では合計で19.8%となり、無延滞者の1.0%に比べて18.8%高い。延滞者は無延滞者に比べて、申込手続き時点での返還義務の認識が十分ではないことがうかがえる。

表 1-7

(単位:人)

区分	26年度				(参考)25年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
申込手続きを行う前	1,790	49.5%	1,951	90.3%	2,243	56.1%	2,319	92.5%
申込手続中	468	12.9%	114	5.3%	410	10.2%	98	3.9%
貸与中	239	6.6%	40	1.9%	211	5.3%	33	1.3%
貸与終了時	127	3.5%	14	0.6%	129	3.2%	12	0.5%
貸与終了後～返還開始前	181	5.0%	16	0.7%	181	4.5%	16	0.6%
返還開始～督促前	181	5.0%	2	0.1%	164	4.1%	6	0.2%
延滞督促を受けてから	355	9.8%	4	0.2%	377	9.4%	4	0.2%
わからない	239	6.6%	17	0.8%	251	6.3%	17	0.7%
その他	39	1.1%	2	0.1%	35	0.9%	3	0.1%
計	3,619	100.0%	2,160	100.0%	4,001	100.0%	2,508	100.0%
無回答	145		10		138		14	

区分	(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
申込手続きを行う前	2,073	54.7%	2,240	90.6%	2,295	55.8%	1,013	90.8%
申込手続中	477	12.6%	123	5.0%	631	15.4%	67	6.0%
貸与中	219	5.8%	48	1.9%	223	5.4%	17	1.5%
貸与終了時	150	4.0%	13	0.5%	156	3.8%	3	0.3%
貸与終了後～返還開始前	174	4.6%	20	0.8%	185	4.5%	10	0.9%
返還開始～督促前	132	3.5%	6	0.2%	-	-	-	-
延滞督促を受けてから	308	8.1%	4	0.2%	406	9.9%	1	0.1%
わからない	224	5.9%	17	0.7%	183	4.5%	4	0.4%
その他	35	0.9%	2	0.1%	31	0.8%	1	0.1%
計	3,792	100.0%	2,473	100.0%	4,110	100.0%	1,116	100.0%
無回答	81		4		59		1	

2 主な返還者について

(1)主な返還者（択一）

「奨学生本人」が返還している割合は、延滞者では 65.2%であるのに対し、無延滞者では 83.8%で無延滞者の方が 18.6%高い。延滞者では「本人の父母」が返還している割合は 31.1%で、無延滞者の 13.9%に比べて 17.2%高い。奨学生であった者本人の返還への関わりが十分でない場合に延滞となる傾向があることがうかがえる。

表 2-1

(単位:人)

区分	26年度				(参考)25年度				(参考)24年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,410	65.2%	1,808	83.8%	2,629	65.1%	2,110	84.1%	2,437	64.5%	2,066	84.8%
本人の父母	1,151	31.1%	300	13.9%	1,243	30.8%	326	13.0%	1,204	31.9%	318	13.1%
本人の兄弟姉妹	12	0.3%	0	0.0%	13	0.3%	3	0.1%	9	0.2%	0	0.0%
本人の祖父母	9	0.2%	0	0.0%	8	0.2%	2	0.1%	7	0.2%	1	0.0%
本人のおじ・おば	4	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の配偶者	52	1.4%	42	1.9%	93	2.3%	67	2.7%	86	2.3%	38	1.6%
その他	58	1.6%	8	0.4%	50	1.2%	2	0.1%	36	1.0%	12	0.5%
計	3,696	100.0%	2,158	100.0%	4,036	100.0%	2,510	100.0%	3,779	100.0%	2,435	100.0%
無回答	68		12		103		12		94		42	

(2)奨学生本人以外の場合の主な返還者との関係（択一）

表 2-2

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
① 連帯保証人である	562	45.2%	142	41.3%
② 保証人である	381	30.6%	70	20.3%
③ 機関保証の「本人以外の連絡先」である	40	3.2%	20	5.8%
④ 「①～③」の二つ以上にあてはまる	69	5.5%	31	9.0%
⑤ 「①～④」にあてはまらない	93	7.5%	42	12.2%
⑥ わからない	99	8.0%	39	11.3%
計	1,244	100.0%	344	100.0%
無回答	42		6	

(3)奨学金を返還するための原資（択一）

表 2-3

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
給与など働いて得る収入	2,899	79.1%	2,011	93.3%
年金など	555	15.1%	44	2.0%
預貯金	57	1.6%	84	3.9%
その他	155	4.2%	17	0.8%
計	3,666	100.0%	2,156	100.0%
無回答	98		14	

(4)主な返還者と回答者との関係

主な返還者と回答者との関連性をみた。

回答者が「奨学生本人」の場合、主な返還者も「奨学生本人」である場合は、延滞者 88.6%、無延滞者 93.0%で無延滞者の方が高い。延滞者では回答者が「本人の父母」である者は、主な返還者も「本人の父母」である場合が 77.0%で高い。無延滞者では回答者が「本人の父母」であっても、主な返還者は「奨学生本人」である場合が 58.2%で高い。

表 2-4-1 (延滞者)

(単位:人)

回答者	奨学生本人		本人の父母		本人の兄弟姉妹		本人の祖父母		本人のおじ・おば		本人の配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
主な返還者																
奨学生本人	2,077	88.6%	253	20.7%	5	31.3%	4	50.0%	0	0.0%	66	73.3%	1	25.0%	2,406	65.3%
本人の父母	195	8.3%	940	77.0%	5	31.3%	2	25.0%	0	0.0%	6	6.7%	0	0.0%	1,148	31.1%
本人の兄弟姉妹	5	0.2%	2	0.2%	5	31.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	0.3%
本人の祖父母	4	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.2%
本人のおじ・おば	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.1%
本人の配偶者	32	1.4%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	18	20.0%	0	0.0%	51	1.4%
その他	31	1.3%	23	1.9%	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	75.0%	58	1.6%
計	2,345	100.0%	1,221	100.0%	16	100.0%	8	100.0%	3	100.0%	90	100.0%	4	100.0%	3,687	100.0%

表 2-4-2 (無延滞者)

(単位:人)

回答者	奨学生本人		本人の父母		本人の兄弟姉妹		本人の祖父母		本人のおじ・おば		本人の配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
主な返還者																
奨学生本人	1,455	93.0%	334	58.2%	3	100.0%	0	-	0	-	16	94.1%	0	-	1,808	83.8%
本人の父母	65	4.2%	235	40.9%	0	0.0%	0	-	0	-	0	0.0%	0	-	300	13.9%
本人の兄弟姉妹	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	-	0	0.0%	0	-	0	0.0%
本人の祖父母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	-	0	0.0%	0	-	0	0.0%
本人のおじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	-	0	0.0%	0	-	0	0.0%
本人の配偶者	40	2.6%	1	0.2%	0	0.0%	0	-	0	-	1	5.9%	0	-	42	1.9%
その他	4	0.3%	4	0.7%	0	0.0%	0	-	0	-	0	0.0%	0	-	8	0.4%
計	1,564	100.0%	574	100.0%	3	100.0%	0	-	0	-	17	100.0%	0	-	2,158	100.0%

(5)主な返還者と学種との関係

主な返還者と貸与を受けた学種の関連性をみた。

延滞者、無延滞者ともに上級校ほど「奨学生本人」が返還している割合が高い。

表 2-5-1 (延滞者)

(単位:人)

学種	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
主な返還者																
奨学生本人	527	56.2%	9	69.2%	185	64.0%	1,218	68.9%	122	77.2%	347	66.3%	2	28.6%	2,410	65.2%
本人の父母	364	38.8%	3	23.1%	94	32.5%	499	28.2%	25	15.8%	162	31.0%	4	57.1%	1,151	31.1%
本人の兄弟姉妹	7	0.7%	0	0.0%	2	0.7%	2	0.1%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	12	0.3%
本人の祖父母	3	0.3%	0	0.0%	1	0.3%	2	0.1%	1	0.6%	2	0.4%	0	0.0%	9	0.2%
本人のおじ・おば	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.1%
本人の配偶者	17	1.8%	0	0.0%	1	0.3%	23	1.3%	6	3.8%	5	1.0%	0	0.0%	52	1.4%
その他	19	2.0%	1	7.7%	6	2.1%	22	1.2%	3	1.9%	6	1.1%	1	14.3%	58	1.6%
計	938	100.0%	13	100.0%	289	100.0%	1,768	100.0%	158	100.0%	523	100.0%	7	100.0%	3,696	100.0%

表 2-5-2 (無延滞者)

(単位:人)

学種	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
主な返還者																
奨学生本人	26	81.3%	73	80.2%	119	83.8%	1,021	82.6%	257	93.1%	280	85.1%	32	61.5%	1,808	83.8%
本人の父母	6	18.8%	17	18.7%	19	13.4%	184	14.9%	15	5.4%	42	12.8%	17	32.7%	300	13.9%
本人の兄弟姉妹	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の祖父母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人のおじ・おば	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
本人の配偶者	0	0.0%	0	0.0%	4	2.8%	27	2.2%	3	1.1%	5	1.5%	3	5.8%	42	1.9%
その他	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	4	0.3%	1	0.4%	2	0.6%	0	0.0%	8	0.4%
計	32	100.0%	91	100.0%	142	100.0%	1,236	100.0%	276	100.0%	329	100.0%	52	100.0%	2,158	100.0%

3 本人の職業について

(1)本人の職業（択一）

本人の職業については、平成 23 年度以降、延滞者、無延滞者ともにわずかずつではあるが、一貫して「常勤社（職）員」が増え、「無職・失業中／休職中」が減少している。

平成 26 年度は、延滞者では「常勤社（職）員」は合計 45.4%、「非常勤社（職）員」16.1%、「無職・失業中／休職中」15.5%となっている。これに対し、無延滞者では「常勤社（職）員」は合計 76.6%、「非常勤社（職）員」7.4%、「無職・失業中／休職中」4.3%となっている。無延滞者の方が良い就業状況にあるといえる。

男女別でみると、延滞者、無延滞者ともに男性の方が女性より「常勤社（職）員」の割合が 20%以上高い。

表 3-1-1

(単位:人)

区分	26年度		無延滞者		(参考)25年度		無延滞者		(参考)24年度		無延滞者		(参考)23年度		無延滞者	
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	1,427	38.8%	1,522	70.3%	1,475	36.2%	1,708	67.9%	1,342	35.6%	1,594	64.5%	1,410	34.5%	639	57.5%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	245	6.7%	137	6.3%	343	8.4%	141	5.6%	247	6.6%	166	6.7%	256	6.3%	61	5.5%
非常勤社(職)員	594	16.1%	161	7.4%	598	14.7%	187	7.4%	568	15.1%	207	8.4%	542	13.3%	85	7.7%
派遣社員	241	6.5%	47	2.2%	269	6.6%	74	2.9%	253	6.7%	52	2.1%	6	7.5%	33	3.0%
自営業/家業	180	4.9%	52	2.4%	273	6.7%	63	2.5%	229	6.1%	70	2.8%	211	5.2%	24	2.2%
学生(留学を含む)	14	0.4%	29	1.3%	30	0.7%	31	1.2%	35	0.9%	100	4.0%	48	1.2%	90	8.1%
専業主婦(夫)	241	6.5%	105	4.8%	311	7.6%	153	6.1%	269	7.1%	127	5.1%	328	8.0%	82	7.4%
無職・失業中/休職中	572	15.5%	93	4.3%	642	15.8%	134	5.3%	686	18.2%	136	5.5%	774	18.9%	71	6.4%
その他	168	4.6%	20	0.9%	132	3.2%	23	0.9%	141	3.7%	20	0.8%	212	5.2%	26	2.3%
計	3,682	100.0%	2,166	100.0%	4,073	100.0%	2,514	100.0%	3,770	100.0%	2,472	100.0%	4,087	100.0%	1,111	100.0%
無回答	82		4		66		8		103		5					

(注) 非常勤社（職）員：週あたりの勤務時間が短く、雇用期限があるもの。以下同様。

表 3-1-2 (男女別)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	1,010	48.7%	417	25.9%	1,427	38.8%	856	81.0%	666	60.1%	1,522	70.3%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	143	6.9%	102	6.3%	245	6.7%	51	4.8%	86	7.8%	137	6.3%
非常勤社(職)員	258	12.4%	336	20.9%	594	16.1%	50	4.7%	111	10.0%	161	7.4%
派遣社員	116	5.6%	125	7.8%	241	6.5%	8	0.8%	39	3.5%	47	2.2%
自営業/家業	132	6.4%	48	3.0%	180	4.9%	36	3.4%	16	1.4%	52	2.4%
学生(留学を含む)	6	0.3%	8	0.5%	14	0.4%	14	1.3%	15	1.4%	29	1.3%
専業主婦(夫)	5	0.2%	236	14.7%	241	6.5%	1	0.1%	104	9.4%	105	4.8%
無職・失業中/休職中	307	14.8%	265	16.5%	572	15.5%	35	3.3%	58	5.2%	93	4.3%
その他	96	4.6%	72	4.5%	168	4.6%	6	0.6%	14	1.3%	20	0.9%
計	2,073	100.0%	1,609	100.0%	3,682	100.0%	1,057	100.0%	1,109	100.0%	2,166	100.0%

表 3-1-3 (本人の年齢別/延滞者)

(単位:人)

職業	年齢		~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	36	27.1%	286	39.3%	480	41.1%	280	43.1%	178	36.2%	116	36.4%	51	26.6%	1,427	38.8%		
常勤社(職)員(雇用期限がある)	11	8.3%	47	6.5%	68	5.8%	39	6.0%	36	7.3%	20	6.3%	24	12.5%	245	6.7%		
非常勤社(職)員	26	19.5%	120	16.5%	187	16.0%	90	13.9%	73	14.8%	53	16.6%	44	22.9%	593	16.1%		
派遣社員	11	8.3%	54	7.4%	87	7.4%	35	5.4%	33	6.7%	16	5.0%	5	2.6%	241	6.5%		
自営業/家業	1	0.8%	22	3.0%	43	3.7%	36	5.5%	35	7.1%	24	7.5%	19	9.9%	180	4.9%		
学生(留学を含む)	2	1.5%	5	0.7%	3	0.3%	2	0.3%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	14	0.4%		
専業主婦(夫)	4	3.0%	50	6.9%	97	8.3%	49	7.6%	23	4.7%	12	3.8%	6	3.1%	241	6.5%		
無職・失業中/休職中	37	27.8%	119	16.4%	160	13.7%	95	14.6%	75	15.2%	58	18.2%	28	14.6%	572	15.5%		
その他	5	3.8%	24	3.3%	44	3.8%	23	3.5%	37	7.5%	20	6.3%	15	7.8%	168	4.6%		
計	133	100.0%	727	100.0%	1,169	100.0%	649	100.0%	492	100.0%	319	100.0%	192	100.0%	3,681	100.0%		

表 3-1-4 (本人の年齢別/無延滞者)

(単位:人)

職業	年齢		~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	310	69.8%	637	72.2%	383	69.6%	145	70.4%	33	60.0%	8	40.0%	6	66.7%	1,522	70.3%		
常勤社(職)員(雇用期限がある)	33	7.4%	54	6.1%	30	5.5%	12	5.8%	4	7.3%	3	15.0%	1	11.1%	137	6.3%		
非常勤社(職)員	45	10.1%	63	7.1%	32	5.8%	11	5.3%	5	9.1%	5	25.0%	0	0.0%	161	7.4%		
派遣社員	10	2.3%	24	2.7%	5	0.9%	7	3.4%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	47	2.2%		
自営業/家業	0	0.0%	16	1.8%	22	4.0%	9	4.4%	2	3.6%	3	15.0%	0	0.0%	52	2.4%		
学生(留学を含む)	13	2.9%	9	1.0%	3	0.5%	3	1.5%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	29	1.3%		
専業主婦(夫)	7	1.6%	32	3.6%	48	8.7%	15	7.3%	3	5.5%	0	0.0%	0	0.0%	105	4.8%		
無職・失業中/休職中	23	5.2%	38	4.3%	22	4.0%	2	1.0%	6	10.9%	0	0.0%	2	22.2%	93	4.3%		
その他	3	0.7%	9	1.0%	5	0.9%	2	1.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	20	0.9%		
計	444	100.0%	882	100.0%	550	100.0%	206	100.0%	55	100.0%	20	100.0%	9	100.0%	2,166	100.0%		

(2)本人の職業と学種との関係

本人の職業と貸与を受けた学種の関連性をみた。

延滞者、無延滞者ともに上級校ほど「常勤社(職)員」の割合が高い。

表 3-2-1 (延滞者)

(単位:人)

職業	学種	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員		290	31.1%	8	61.5%	80	28.0%	797	45.2%	46	28.9%	204	39.1%	2	28.6%	1,427	38.8%
常勤社(職)員(雇用期限がある)		49	5.3%	1	7.7%	16	5.6%	131	7.4%	17	10.7%	30	5.7%	1	14.3%	245	6.7%
非常勤社(職)員		181	19.4%	0	0.0%	57	19.9%	226	12.8%	41	25.8%	88	16.9%	1	14.3%	594	16.1%
派遣社員		63	6.8%	1	7.7%	25	8.7%	115	6.5%	3	1.9%	33	6.3%	1	14.3%	241	6.5%
自営業/家業		32	3.4%	0	0.0%	9	3.1%	109	6.2%	9	5.7%	21	4.0%	0	0.0%	180	4.9%
学生(留学を含む)		1	0.1%	0	0.0%	2	0.7%	9	0.5%	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	14	0.4%
専業主婦(夫)		96	10.3%	1	7.7%	43	15.0%	62	3.5%	3	1.9%	36	6.9%	0	0.0%	241	6.5%
無職・失業中/休職中		156	16.8%	2	15.4%	45	15.7%	250	14.2%	29	18.2%	88	16.9%	2	28.6%	572	15.5%
その他		63	6.8%	0	0.0%	9	3.1%	65	3.7%	11	6.9%	20	3.8%	0	0.0%	168	4.6%
計		931	100.0%	13	100.0%	286	100.0%	1,764	100.0%	159	100.0%	522	100.0%	7	100.0%	3,682	100.0%

表 3-2-2 (無延滞者)

(単位:人)

職業	学種	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員		22	68.8%	81	89.0%	85	59.9%	888	71.4%	203	73.6%	213	64.7%	30	57.7%	1,522	70.3%
常勤社(職)員(雇用期限がある)		1	3.1%	4	4.4%	12	8.5%	81	6.5%	23	8.3%	14	4.3%	2	3.8%	137	6.3%
非常勤社(職)員		5	15.6%	0	0.0%	11	7.7%	81	6.5%	19	6.9%	36	10.9%	9	17.3%	161	7.4%
派遣社員		2	6.3%	1	1.1%	4	2.8%	21	1.7%	3	1.1%	14	4.3%	2	3.8%	47	2.2%
自営業/家業		0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%	28	2.3%	13	4.7%	8	2.4%	0	0.0%	52	2.4%
学生(留学を含む)		0	0.0%	2	2.2%	2	1.4%	20	1.6%	2	0.7%	3	0.9%	0	0.0%	29	1.3%
専業主婦(夫)		1	3.1%	1	1.1%	17	12.0%	60	4.8%	6	2.2%	15	4.6%	5	9.6%	105	4.8%
無職・失業中/休職中		0	0.0%	2	2.2%	7	4.9%	55	4.4%	4	1.4%	21	6.4%	4	7.7%	93	4.3%
その他		1	3.1%	0	0.0%	1	0.7%	10	0.8%	3	1.1%	5	1.5%	0	0.0%	20	0.9%
計		32	100.0%	91	100.0%	142	100.0%	1,244	100.0%	276	100.0%	329	100.0%	52	100.0%	2,166	100.0%

4 本人の年収について

(1)本人の年収（択一）

本人の年収については、平成 23 年度以降、全体的に低所得層が減少し、高所得層が増加している。

平成 26 年度では、「年収 300 万円未満」と回答した者は、延滞者では合計 78.2%であるのに対し、無延滞者では合計 54.9%で、延滞者の方が 20%以上高い。全体的に延滞者の年収の方が無延滞者より低い傾向がみられる。

男女別でみると、「年収 0～100 万円未満」と回答した者は延滞者で男性 22.4%に対し女性 47.6%、無延滞者で男性 7.1%に対し女性 19.5%と、いずれも 2 倍以上の差がある。

職業別でみると、「年収 200 万円以上」で「常勤社(職)員」の割合が最も高くなっている。

年齢別では、延滞者と無延滞者で傾向が異なっている。無延滞者では年齢層が上がるるとともに最も割合の高い年収区分が上がる傾向があるのに対し、延滞者では一貫して「年収 100 万円以上 200 万円未満」の割合が最も高い。

表 4-1-1

(単位:人)

区分	26年度				(参考)25年度				(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	500	14.1%	135	6.3%	592	15.1%	167	6.7%	668	18.0%	201	8.2%	743	18.5%	129	11.7%
1円～100万円未満	687	19.4%	153	7.2%	754	19.3%	232	9.3%	720	19.4%	227	9.3%	841	20.9%	151	13.7%
100万～200万円未満	859	24.2%	334	15.6%	937	24.0%	382	15.4%	949	25.6%	390	16.0%	954	23.7%	189	17.2%
200万～300万円未満	727	20.5%	552	25.8%	852	21.8%	636	25.6%	741	20.0%	647	26.5%	817	20.3%	262	23.8%
300万～400万円未満	437	12.3%	450	21.1%	430	11.0%	486	19.6%	376	10.1%	449	18.4%	414	10.3%	185	16.8%
400万～500万円未満	175	4.9%	226	10.6%	198	5.1%	287	11.6%	252	6.8%	529	21.7%	255	6.3%	184	16.7%
500万～600万円未満	80	2.3%	135	6.3%	82	2.1%	127	5.1%								
600万～700万円未満	35	1.0%	73	3.4%	34	0.9%	67	2.7%								
700万～800万円未満	22	0.6%	35	1.6%	15	0.4%	40	1.6%								
800万～900万円未満	9	0.3%	15	0.7%	5	0.1%	13	0.5%								
900万～1000万円未満	7	0.2%	13	0.6%	9	0.2%	12	0.5%								
1000万円以上	5	0.1%	16	0.7%	4	0.1%	34	1.4%								
計	3,543	100.0%	2,137	100.0%	3,912	100.0%	2,483	100.0%	3,706	100.0%	2,443	100.0%	4,024	100.0%	1,100	100.0%
無回答	221		33		227		39		167		34					

表 4-1-2 (男女別)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	173	8.7%	327	21.0%	500	14.1%	23	2.2%	112	10.2%	135	6.3%
1円～100万円未満	272	13.7%	415	26.6%	687	19.4%	51	4.9%	102	9.3%	153	7.2%
100万～200万円未満	428	21.6%	431	27.6%	859	24.2%	95	9.2%	239	21.7%	334	15.6%
200万～300万円未満	491	24.8%	236	15.1%	727	20.5%	231	22.3%	321	29.2%	552	25.8%
300万～400万円未満	324	16.3%	113	7.2%	437	12.3%	251	24.2%	199	18.1%	450	21.1%
400万～500万円未満	154	7.8%	21	1.3%	175	4.9%	152	14.6%	74	6.7%	226	10.6%
500万～600万円未満	69	3.5%	11	0.7%	80	2.3%	99	9.5%	36	3.3%	135	6.3%
600万～700万円未満	33	1.7%	2	0.1%	35	1.0%	63	6.1%	10	0.9%	73	3.4%
700万～800万円未満	21	1.1%	1	0.1%	22	0.6%	31	3.0%	4	0.4%	35	1.6%
800万～900万円未満	8	0.4%	1	0.1%	9	0.3%	15	1.4%	0	0.0%	15	0.7%
900万～1000万円未満	6	0.3%	1	0.1%	7	0.2%	11	1.1%	2	0.2%	13	0.6%
1000万円以上	4	0.2%	1	0.1%	5	0.1%	16	1.5%	0	0.0%	16	0.7%
計	1,983	100.0%	1,560	100.0%	3,543	100.0%	1,038	100.0%	1,099	100.0%	2,137	100.0%

表 4-1-3 (年収と職業/延滞者)

職業	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満		300万～400万円未満		400万～500万円未満	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	4	0.8%	38	5.6%	233	27.7%	452	62.5%	355	82.2%	152	86.9%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	1	0.2%	23	3.4%	89	10.6%	75	10.4%	37	8.6%	7	4.0%
非常勤社(職)員	6	1.2%	233	34.6%	255	30.3%	71	9.8%	14	3.2%	3	1.7%
派遣社員	0	0.0%	48	7.1%	125	14.8%	53	7.3%	4	0.9%	3	1.7%
自営業/家業	7	1.4%	52	7.7%	55	6.5%	36	5.0%	13	3.0%	7	4.0%
学生(留学を含む)	5	1.0%	9	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
専業主婦(夫)	168	33.8%	51	7.6%	4	0.5%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
無職・失業中/休職中	271	54.5%	184	27.3%	56	6.7%	24	3.3%	8	1.9%	3	1.7%
その他	35	7.0%	36	5.3%	25	3.0%	10	1.4%	1	0.2%	0	0.0%
計	497	100.0%	674	100.0%	842	100.0%	723	100.0%	432	100.0%	175	100.0%

(単位:人)

職業	500万～600万円未満		600万～700万円未満		700万～800万円未満		800万～900万円未満		900万～1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	70	87.5%	33	94.3%	21	95.5%	7	77.8%	5	71.4%	2	40.0%	1,372	39.2%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	4	5.0%	1	2.9%	0	0.0%	1	11.1%	1	14.3%	1	20.0%	240	6.9%
非常勤社(職)員	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	584	16.7%
派遣社員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	233	6.7%
自営業/家業	3	3.8%	0	0.0%	1	4.5%	1	11.1%	1	14.3%	2	40.0%	178	5.1%
学生(留学を含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	0.4%
専業主婦(夫)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	225	6.4%
無職・失業中/休職中	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	547	15.6%
その他	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	108	3.1%
計	80	100.0%	35	100.0%	22	100.0%	9	100.0%	7	100.0%	5	100.0%	3,501	100.0%

表 4-1-4 (年収と職業/無延滞者)

職業	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満		300万～400万円未満		400万～500万円未満	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	0	0.0%	23	15.0%	145	43.4%	445	80.6%	402	89.5%	216	95.6%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	1	0.7%	4	2.6%	52	15.6%	43	7.8%	23	5.1%	6	2.7%
非常勤社(職)員	1	0.7%	59	38.6%	73	21.9%	23	4.2%	5	1.1%	0	0.0%
派遣社員	1	0.7%	5	3.3%	25	7.5%	15	2.7%	0	0.0%	1	0.4%
自営業/家業	1	0.7%	6	3.9%	13	3.9%	10	1.8%	8	1.8%	1	0.4%
学生(留学を含む)	11	8.1%	11	7.2%	3	0.9%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
専業主婦(夫)	78	57.8%	13	8.5%	4	1.2%	3	0.5%	6	1.3%	1	0.4%
無職・失業中/休職中	35	25.9%	27	17.6%	14	4.2%	12	2.2%	3	0.7%	1	0.4%
その他	7	5.2%	5	3.3%	5	1.5%	1	0.2%	1	0.2%	0	0.0%
計	135	100.0%	153	100.0%	334	100.0%	552	100.0%	449	100.0%	226	100.0%

(単位:人)

職業	500万～600万円未満		600万～700万円未満		700万～800万円未満		800万～900万円未満		900万～1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤社(職)員	129	96.3%	69	94.5%	34	97.1%	11	73.3%	11	84.6%	12	75.0%	1,497	70.1%
常勤社(職)員(雇用期限がある)	3	2.2%	2	2.7%	1	2.9%	1	6.7%	1	7.7%	0	0.0%	137	6.4%
非常勤社(職)員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	161	7.5%
派遣社員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	47	2.2%
自営業/家業	2	1.5%	2	2.7%	0	0.0%	2	13.3%	1	7.7%	3	18.8%	49	2.3%
学生(留学を含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	6.3%	28	1.3%
専業主婦(夫)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	105	4.9%
無職・失業中/休職中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	92	4.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	19	0.9%
計	134	100.0%	73	100.0%	35	100.0%	15	100.0%	13	100.0%	16	100.0%	2,135	100.0%

表 4-1-5 (年収と年齢/延滞者)

(単位:人)

年収	年齢		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	26	19.5%	92	13.2%	166	14.6%	95	15.2%	67	14.5%	34	11.2%	20	10.6%	500	14.1%
1円~100万円未満	43	32.3%	139	20.0%	201	17.7%	116	18.6%	84	18.2%	67	22.1%	37	19.6%	687	19.4%
100万~200万円未満	44	33.1%	213	30.6%	270	23.7%	126	20.2%	95	20.6%	72	23.8%	39	20.6%	859	24.2%
200万~300万円未満	17	12.8%	163	23.4%	265	23.3%	110	17.7%	93	20.1%	47	15.5%	32	16.9%	727	20.5%
300万~400万円未満	2	1.5%	71	10.2%	156	13.7%	92	14.8%	53	11.5%	38	12.5%	25	13.2%	437	12.3%
400万~500万円未満	1	0.8%	11	1.6%	57	5.0%	46	7.4%	30	6.5%	15	5.0%	15	7.9%	175	4.9%
500万~600万円未満	0	0.0%	4	0.6%	18	1.6%	19	3.0%	24	5.2%	11	3.6%	4	2.1%	80	2.3%
600万~700万円未満	0	0.0%	1	0.1%	2	0.2%	13	2.1%	5	1.1%	7	2.3%	7	3.7%	35	1.0%
700万~800万円未満	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	3	0.5%	5	1.1%	9	3.0%	4	2.1%	22	0.6%
800万~900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.3%	4	0.9%	0	0.0%	2	1.1%	9	0.3%
900万~1000万円未満	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.7%	2	1.1%	7	0.2%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	1	0.3%	2	1.1%	5	0.1%
計	133	100.0%	696	100.0%	1,137	100.0%	623	100.0%	462	100.0%	303	100.0%	189	100.0%	3,543	100.0%

表 4-1-6 (年収と年齢/無延滞者)

(単位:人)

年収	年齢		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	21	4.8%	43	4.9%	50	9.1%	14	7.0%	7	13.2%	0	0.0%	0	0.0%	135	6.3%
1円~100万円未満	59	13.4%	50	5.7%	25	4.6%	12	6.0%	4	7.5%	3	16.7%	0	0.0%	153	7.2%
100万~200万円未満	114	26.0%	135	15.5%	60	11.0%	17	8.5%	5	9.4%	1	5.6%	2	22.2%	334	15.6%
200万~300万円未満	188	42.8%	257	29.5%	88	16.1%	13	6.5%	4	7.5%	1	5.6%	1	11.1%	552	25.8%
300万~400万円未満	46	10.5%	240	27.6%	114	20.8%	38	19.0%	8	15.1%	3	16.7%	1	11.1%	450	21.1%
400万~500万円未満	10	2.3%	96	11.0%	88	16.1%	26	13.0%	4	7.5%	1	5.6%	1	11.1%	226	10.6%
500万~600万円未満	1	0.2%	34	3.9%	64	11.7%	30	15.0%	5	9.4%	1	5.6%	0	0.0%	135	6.3%
600万~700万円未満	0	0.0%	11	1.3%	32	5.9%	17	8.5%	6	11.3%	6	33.3%	1	11.1%	73	3.4%
700万~800万円未満	0	0.0%	3	0.3%	14	2.6%	11	5.5%	4	7.5%	1	5.6%	2	22.2%	35	1.6%
800万~900万円未満	0	0.0%	1	0.1%	7	1.3%	3	1.5%	3	5.7%	1	5.6%	0	0.0%	15	0.7%
900万~1000万円未満	0	0.0%	1	0.1%	1	0.2%	11	5.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	0.6%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	4	0.7%	8	4.0%	3	5.7%	0	0.0%	1	11.1%	16	0.7%
計	439	100.0%	871	100.0%	547	100.0%	200	100.0%	53	100.0%	18	100.0%	9	100.0%	2,137	100.0%

(2)本人の年収と学種との関係

表 4-2
(学種合計)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者						
	男		女		計		男		女		計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
計	0円	173	8.7%	327	21.0%	500	14.1%	23	2.2%	112	10.2%	135	6.3%
	1円～100万円未満	272	13.7%	415	26.6%	687	19.4%	51	4.9%	102	9.3%	153	7.2%
	100万～200万円未満	428	21.6%	431	27.6%	859	24.2%	95	9.2%	239	21.7%	334	15.6%
	200万～300万円未満	491	24.8%	236	15.1%	727	20.5%	231	22.3%	321	29.2%	552	25.8%
	300万～400万円未満	324	16.3%	113	7.2%	437	12.3%	251	24.2%	199	18.1%	450	21.1%
	400万～500万円未満	154	7.8%	21	1.3%	175	4.9%	152	14.6%	74	6.7%	226	10.6%
	500万～600万円未満	69	3.5%	11	0.7%	80	2.3%	99	9.5%	36	3.3%	135	6.3%
	600万～700万円未満	33	1.7%	2	0.1%	35	1.0%	63	6.1%	10	0.9%	73	3.4%
	700万～800万円未満	21	1.1%	1	0.1%	22	0.6%	31	3.0%	4	0.4%	35	1.6%
	800万～900万円未満	8	0.4%	1	0.1%	9	0.3%	15	1.4%	0	0.0%	15	0.7%
	900万～1000万円未満	6	0.3%	1	0.1%	7	0.2%	11	1.1%	2	0.2%	13	0.6%
	1000万円以上	4	0.2%	1	0.1%	5	0.1%	16	1.5%	0	0.0%	16	0.7%
計	1,983	100.0%	1,560	100.0%	3,543	100.0%	1,038	100.0%	1,099	100.0%	2,137	100.0%	

(高等学校・高等専門学校・短期大学)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者						
	男		女		計		男		女		計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
高等学校	0円	43	11.1%	132	26.1%	175	19.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1円～100万円未満	68	17.6%	152	30.1%	220	24.7%	0	0.0%	2	11.1%	2	6.5%
	100万～200万円未満	106	27.5%	143	28.3%	249	27.9%	2	15.4%	5	27.8%	7	22.6%
	200万～300万円未満	94	24.4%	52	10.3%	146	16.4%	4	30.8%	7	38.9%	11	35.5%
	300万～400万円未満	45	11.7%	23	4.6%	68	7.6%	5	38.5%	4	22.2%	9	29.0%
	400万～500万円未満	21	5.4%	1	0.2%	22	2.5%	2	15.4%	0	0.0%	2	6.5%
	500万～600万円未満	6	1.6%	1	0.2%	7	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	600万～700万円未満	2	0.5%	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	700万～800万円未満	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	800万～900万円未満	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	386	100.0%	505	100.0%	891	100.0%	13	100.0%	18	100.0%	31	100.0%	
高等専門学校	0円	2	20.0%	1	33.3%	3	23.1%	3	4.2%	1	6.3%	4	4.5%
	1円～100万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	1	1.1%
	100万～200万円未満	1	10.0%	2	66.7%	3	23.1%	3	4.2%	1	6.3%	4	4.5%
	200万～300万円未満	1	10.0%	0	0.0%	1	7.7%	23	31.9%	5	31.3%	28	31.8%
	300万～400万円未満	2	20.0%	0	0.0%	2	15.4%	19	26.4%	6	37.5%	25	28.4%
	400万～500万円未満	2	20.0%	0	0.0%	2	15.4%	12	16.7%	2	12.5%	14	15.9%
	500万～600万円未満	1	10.0%	0	0.0%	1	7.7%	7	9.7%	0	0.0%	7	8.0%
	600万～700万円未満	1	10.0%	0	0.0%	1	7.7%	4	5.6%	0	0.0%	4	4.5%
	700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	1	1.1%
	800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	10	100.0%	3	100.0%	13	100.0%	72	100.0%	16	100.0%	88	100.0%	
短期大学	0円	5	11.4%	49	21.2%	54	19.6%	1	11.1%	13	9.8%	14	9.9%
	1円～100万円未満	4	9.1%	68	29.4%	72	26.2%	2	22.2%	13	9.8%	15	10.6%
	100万～200万円未満	12	27.3%	61	26.4%	73	26.5%	4	44.4%	40	30.1%	44	31.0%
	200万～300万円未満	15	34.1%	33	14.3%	48	17.5%	1	11.1%	40	30.1%	41	28.9%
	300万～400万円未満	6	13.6%	17	7.4%	23	8.4%	0	0.0%	21	15.8%	21	14.8%
	400万～500万円未満	1	2.3%	2	0.9%	3	1.1%	1	11.1%	5	3.8%	6	4.2%
	500万～600万円未満	1	2.3%	1	0.4%	2	0.7%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.7%
	600万～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	44	100.0%	231	100.0%	275	100.0%	9	100.0%	133	100.0%	142	100.0%	

(大学・大学院)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者						
	男		女		計		男		女		計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
大学	0円	83	7.1%	97	18.4%	180	10.6%	11	1.7%	65	10.9%	76	6.2%
	1円～100万円未満	138	11.8%	124	23.6%	262	15.4%	31	4.9%	56	9.4%	87	7.1%
	100万～200万円未満	230	19.6%	131	24.9%	361	21.2%	61	9.7%	115	19.2%	176	14.3%
	200万～300万円未満	285	24.3%	99	18.8%	384	22.6%	156	24.7%	169	28.3%	325	26.4%
	300万～400万円未満	222	18.9%	54	10.3%	276	16.2%	157	24.8%	110	18.4%	267	21.7%
	400万～500万円未満	109	9.3%	12	2.3%	121	7.1%	98	15.5%	46	7.7%	144	11.7%
	500万～600万円未満	52	4.4%	7	1.3%	59	3.5%	54	8.5%	25	4.2%	79	6.4%
	600万～700万円未満	24	2.0%	0	0.0%	24	1.4%	24	3.8%	9	1.5%	33	2.7%
	700万～800万円未満	18	1.5%	0	0.0%	18	1.1%	18	2.8%	3	0.5%	21	1.7%
	800万～900万円未満	6	0.5%	1	0.2%	7	0.4%	7	1.1%	0	0.0%	7	0.6%
	900万～1000万円未満	4	0.3%	1	0.2%	5	0.3%	5	0.8%	0	0.0%	5	0.4%
1000万円以上	2	0.2%	0	0.0%	2	0.1%	10	1.6%	0	0.0%	10	0.8%	
計	1,173	100.0%	526	100.0%	1,699	100.0%	632	100.0%	598	100.0%	1,230	100.0%	
大学院	0円	14	11.8%	2	6.1%	16	10.5%	0	0.0%	8	9.6%	8	3.0%
	1円～100万円未満	17	14.3%	9	27.3%	26	17.1%	4	2.2%	6	7.2%	10	3.7%
	100万～200万円未満	20	16.8%	10	30.3%	30	19.7%	3	1.6%	9	10.8%	12	4.5%
	200万～300万円未満	25	21.0%	1	3.0%	26	17.1%	16	8.6%	18	21.7%	34	12.6%
	300万～400万円未満	15	12.6%	6	18.2%	21	13.8%	37	19.9%	25	30.1%	62	23.0%
	400万～500万円未満	8	6.7%	2	6.1%	10	6.6%	26	14.0%	6	7.2%	32	11.9%
	500万～600万円未満	7	5.9%	1	3.0%	8	5.3%	34	18.3%	7	8.4%	41	15.2%
	600万～700万円未満	5	4.2%	1	3.0%	6	3.9%	34	18.3%	1	1.2%	35	13.0%
	700万～800万円未満	3	2.5%	0	0.0%	3	2.0%	12	6.5%	1	1.2%	13	4.8%
	800万～900万円未満	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%	8	4.3%	0	0.0%	8	3.0%
	900万～1000万円未満	2	1.7%	0	0.0%	2	1.3%	6	3.2%	2	2.4%	8	3.0%
1000万円以上	2	1.7%	1	3.0%	3	2.0%	6	3.2%	0	0.0%	6	2.2%	
計	119	100.0%	33	100.0%	152	100.0%	186	100.0%	83	100.0%	269	100.0%	

(専修学校専門課程・専修学校高等課程)

(単位:人)

区分	延滞者						無延滞者						
	男		女		計		男		女		計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
専修学校 専門課程	0円	26	10.4%	44	17.2%	70	13.8%	6	5.3%	21	9.9%	27	8.3%
	1円～100万円未満	45	18.0%	60	23.4%	105	20.8%	13	11.5%	20	9.4%	33	10.2%
	100万～200万円未満	58	23.2%	82	32.0%	140	27.7%	18	15.9%	62	29.2%	80	24.6%
	200万～300万円未満	71	28.4%	51	19.9%	122	24.1%	28	24.8%	72	34.0%	100	30.8%
	300万～400万円未満	34	13.6%	13	5.1%	47	9.3%	31	27.4%	27	12.7%	58	17.8%
	400万～500万円未満	13	5.2%	4	1.6%	17	3.4%	12	10.6%	8	3.8%	20	6.2%
	500万～600万円未満	2	0.8%	1	0.4%	3	0.6%	4	3.5%	2	0.9%	6	1.8%
	600万～700万円未満	1	0.4%	1	0.4%	2	0.4%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.3%
	700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
計	250	100.0%	256	100.0%	506	100.0%	113	100.0%	212	100.0%	325	100.0%	
専修学校 高等課程	0円	0	0.0%	2	33.3%	2	28.6%	2	15.4%	4	10.3%	6	11.5%
	1円～100万円未満	0	0.0%	2	33.3%	2	28.6%	1	7.7%	4	10.3%	5	9.6%
	100万～200万円未満	1	100.0%	2	33.3%	3	42.9%	4	30.8%	7	17.9%	11	21.2%
	200万～300万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	23.1%	10	25.6%	13	25.0%
	300万～400万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%	6	15.4%	8	15.4%
	400万～500万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	7	17.9%	8	15.4%
	500万～600万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	1.9%
	600万～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	900万～1000万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
計	1	100.0%	6	100.0%	7	100.0%	13	100.0%	39	100.0%	52	100.0%	

5 延滞の理由と今後の返還の見通しについて（延滞者のみ回答）

(1)延滞が始まった理由（きっかけ）

延滞が始まった理由（きっかけ）について、本人の経済状況をあげる者が多い傾向は、この数年間変化はない。平成26年度は、「家計の収入が減った」が69.4%で最も高く、次いで「家計の支出が増えた」41.9%となっている。「忙しかった」、「返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス」と回答した者も10%以上いる。

表 5-1-1（複数選択）

（単位：人）

区分	延滞者							
	26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	511	13.9%	332	8.2%	366	9.6%	406	9.9%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	404	11.0%	295	7.3%	370	9.7%	341	8.3%
家計の収入が減った	2,562	69.4%	2,948	72.9%	2,945	77.0%	3,095	75.3%
家計の支出が増えた	1,547	41.9%	1,397	34.5%	1,503	39.3%	1,595	38.8%
入院、事故、災害等にあったため	850	23.0%	732	18.1%	765	20.0%	729	17.7%
奨学金は返還するものだとは思っていなかった	91	2.5%	110	2.7%	138	3.6%	85	2.1%
その他	936	25.4%	1,146	28.3%	264	6.9%	499	12.1%
回答者数	3,689	-	4,046	-	3,823	-	4,111	-
無回答	75	-	93	-	50	-	-	-

※ 平成25年度までは2つまで選択、平成26年度はあてはまるもの全て選択。

表 5-1-2（男女別/複数選択）

（単位：人）

区分	延滞者					
	男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	283	13.6%	228	14.2%	511	13.9%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	206	9.9%	198	12.3%	404	11.0%
家計の収入が減った	1,424	68.4%	1,138	70.8%	2,562	69.4%
家計の支出が増えた	870	41.8%	677	42.1%	1,547	41.9%
入院、事故、災害等にあったため	446	21.4%	404	25.1%	850	23.0%
奨学金は返還するものだとは思っていなかった	49	2.4%	42	2.6%	91	2.5%
その他	488	23.5%	448	27.9%	936	25.4%
回答者数	2,081	-	1,608	-	3,689	-

表 5-1-3 最たる理由（男女別/択一）

（単位：人）

区分	延滞者					
	男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	48	2.6%	38	2.7%	86	2.6%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	67	3.7%	52	3.7%	119	3.7%
家計の収入が減った	1,010	55.1%	790	55.9%	1,800	55.5%
家計の支出が増えた	268	14.6%	162	11.5%	430	13.2%
入院、事故、災害等にあったため	139	7.6%	108	7.6%	247	7.6%
奨学金は返還するものだとは思っていなかった	17	0.9%	22	1.6%	39	1.2%
その他	283	15.4%	242	17.1%	525	16.2%
計	1,832	100.0%	1,414	100.0%	3,246	100.0%

(2)延滞が継続している理由

延滞が継続している理由については、「本人の低所得」と回答した者が51.6%で最も高い。「本人の借入金の返済」、「親の経済困難」、「奨学金の延滞額の増加」と回答した者が増えたことについては、今回の調査から回答数の制限をなくしたこと（平成25年度までは2つまで選択、平成26年度はあてはまるもの全て選択）が影響していると考えられる。

「本人の低所得」を延滞継続の理由とする者の本人の年収をみると、85.9%の者が「年収300万円未満」である。

表 5-2-1（複数選択）

（単位：人）

区分	延滞者							
	26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	1,883	51.6%	2,049	51.1%	1,797	47.5%	1,982	49.3%
本人が失業中(無職)	606	16.6%	605	15.1%	699	18.5%	769	19.1%
本人が学生(留学を含む)	28	0.8%	30	0.7%	39	1.0%	45	1.1%
本人が病気療養中	274	7.5%	212	5.3%	249	6.6%	249	6.2%
本人の借入金の返済	948	26.0%	796	19.8%	818	21.6%	788	19.6%
本人親の経済困難(本人が親への経済援助をしており支出が多い)	944	25.9%	758	18.9%	1,317	34.8%	1,425	35.5%
本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)	738	20.2%	710	17.7%				
本人の配偶者の経済困難	330	9.0%	218	5.4%	218	5.8%	198	4.9%
家族の病気療養	445	12.2%	230	5.7%	277	7.3%	316	7.9%
忙しい(金融機関に行けない等)	258	7.1%	139	3.5%	156	4.1%	155	3.9%
奨学金の延滞額の増加	1,707	46.8%	1,201	29.9%	1,218	32.2%	1,149	28.6%
奨学金は返還するものだとは思っていない	21	0.6%	19	0.5%	12	0.3%	9	0.2%
その他	311	8.5%	262	6.5%	69	1.8%	153	3.8%
回答者数	3,649	-	4,013	-	3,786	-	4,017	-
無回答	115		126		87			

※ 平成25年度までは2つまで選択、平成26年度はあてはまるもの全て選択。

表 5-2-2（延滞継続理由と本人の年収）

（単位：人）

区分	延滞継続理由「本人の低所得」と回答した者の年収		延滞者の年収(再掲)	
	人数	割合	人数	割合
0円	121	6.6%	500	14.1%
1円～100万円未満	462	25.1%	687	19.4%
100万～200万円未満	577	31.3%	859	24.2%
200万～300万円未満	423	22.9%	727	20.5%
300万～400万円未満	189	10.2%	437	12.3%
400万～500万円未満	49	2.7%	175	4.9%
500万～600万円未満	15	0.8%	80	2.3%
600万～700万円未満	6	0.3%	35	1.0%
700万～800万円未満	1	0.1%	22	0.6%
800万～900万円未満	1	0.1%	9	0.3%
900万～1000万円未満	0	0.0%	7	0.2%
1000万円以上	0	0.0%	5	0.1%
計	1,844	100.0%	3,543	100.0%

(3)延滞が始まった理由（きっかけ）と継続している理由との関係

延滞が始まった理由と継続している理由との関連性をみた。

延滞が始まった理由について「返還を忘れていた」、「収入が減った」、「支出が増えた」と回答した者は、「本人の低所得」を延滞が継続している理由として回答している割合が高い。延滞が始まった理由について「忙しかった」、「入院、事故、災害等」、「返還するものだとは思っていなかった」、「その他」と回答した者は、「延滞額の増加」を延滞が継続している理由として回答している割合が高い。

表 5-3

(単位:人)

継続の理由	始まった理由		返還を忘れていた		収入が減った		支出が増えた	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	286	56.0%	241	59.7%	1,512	59.0%	888	57.4%
本人が失業中(無職)	49	9.6%	51	12.6%	476	18.6%	232	15.0%
本人が学生(留学を含む)	2	0.4%	6	1.5%	19	0.7%	16	1.0%
本人が病気療養中	26	5.1%	23	5.7%	190	7.4%	116	7.5%
本人の借入金の返済	170	33.3%	124	30.7%	700	27.3%	588	38.0%
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	158	30.9%	109	27.0%	691	27.0%	539	34.8%
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	59	11.5%	49	12.1%	558	21.8%	338	21.8%
本人の配偶者の経済困難	49	9.6%	40	9.9%	253	9.9%	219	14.2%
家族の病気療養	63	12.3%	42	10.4%	348	13.6%	284	18.4%
忙しい(金融機関に行けない等)	190	37.2%	93	23.0%	153	6.0%	132	8.5%
奨学金の延滞額の増加	307	60.1%	238	58.9%	1,267	49.5%	866	56.0%
奨学金は返還するものだとは思っていない	5	1.0%	5	1.2%	13	0.5%	4	0.3%
その他	57	11.2%	38	9.4%	169	6.6%	115	7.4%
回答者数	511	-	404	-	2,562	-	1,547	-

継続の理由	始まった理由		返還するものだとは思っていない		その他		回答者数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	443	52.1%	51	56.0%	443	47.3%	1,883	52.0%
本人が失業中(無職)	174	20.5%	20	22.0%	174	18.6%	606	16.7%
本人が学生(留学を含む)	4	0.5%	2	2.2%	7	0.7%	28	0.8%
本人が病気療養中	174	20.5%	7	7.7%	85	9.1%	274	7.6%
本人の借入金の返済	253	29.8%	28	30.8%	257	27.5%	948	26.2%
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	305	35.9%	22	24.2%	231	24.7%	944	26.1%
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	230	27.1%	21	23.1%	169	18.1%	738	20.4%
本人の配偶者の経済困難	97	11.4%	10	11.0%	85	9.1%	330	9.1%
家族の病気療養	238	28.0%	12	13.2%	115	12.3%	445	12.3%
忙しい(金融機関に行けない等)	45	5.3%	10	11.0%	60	6.4%	258	7.1%
奨学金の延滞額の増加	455	53.5%	61	67.0%	495	52.9%	1,707	47.2%
奨学金は返還するものだとは思っていない	3	0.4%	12	13.2%	10	1.1%	21	0.6%
その他	59	6.9%	14	15.4%	195	20.8%	311	8.6%
回答者数	850	-	91	-	936	-	3,618	-

(4)延滞が継続している理由と主な返還者との関係

延滞が継続している理由と主な返還者との関連性をみた。

主な返還者が「奨学生本人」の場合、延滞が継続している理由は「本人の低所得」が58.1%で最も高く、次いで「延滞額の増加」が51.4%となっている。一方、主な返還者が「本人の父母」の場合は、延滞が継続している理由は「本人親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）」が45.0%で最も高く、次いで「本人の低所得」が35.6%となっている。

表 5-4

(単位:人)

継続の理由	主な返還者		奨学生本人		本人の父母		本人の兄弟姉妹		本人の祖父母	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	1,400	58.1%	410	35.6%	8	66.7%	2	22.2%		
本人が失業中(無職)	349	14.5%	209	18.2%	3	25.0%	1	11.1%		
本人が学生(留学を含む)	15	0.6%	10	0.9%	0	0.0%	0	0.0%		
本人が病気療養中	174	7.2%	74	6.4%	2	16.7%	2	22.2%		
本人の借入金の返済	769	31.9%	140	12.2%	2	16.7%	0	0.0%		
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	666	27.6%	236	20.5%	4	33.3%	1	11.1%		
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	175	7.3%	518	45.0%	3	25.0%	2	22.2%		
本人の配偶者の経済困難	233	9.7%	70	6.1%	0	0.0%	0	0.0%		
家族の病気療養	273	11.3%	145	12.6%	0	0.0%	2	22.2%		
忙しい(金融機関に行けない等)	219	9.1%	23	2.0%	0	0.0%	0	0.0%		
奨学金の延滞額の増加	1,238	51.4%	390	33.9%	5	41.7%	1	11.1%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	10	0.4%	9	0.8%	0	0.0%	1	11.1%		
その他	204	8.5%	85	7.4%	0	0.0%	1	11.1%		
回答者数	2,410	-	1,151	-	12	-	9	-		

継続の理由	主な返還者		本人のおじ・おば		本人の配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	2	0.0%	19	36.5%	24	41.4%	1,883	52.4%		
本人が失業中(無職)	0	0.0%	17	32.7%	15	25.9%	606	16.9%		
本人が学生(留学を含む)	0	0.0%	1	1.9%	1	1.7%	28	0.8%		
本人が病気療養中	0	0.0%	7	13.5%	13	22.4%	274	7.6%		
本人の借入金の返済	2	0.0%	9	17.3%	19	32.8%	948	26.4%		
本人親の経済困難 (本人が親への経済援助をしており支出が多い)	2	0.0%	10	19.2%	13	22.4%	944	26.3%		
本人親の経済困難 (本人の親が返還する約束をしている)	1	0.0%	8	15.4%	17	29.3%	738	20.5%		
本人の配偶者の経済困難	0	0.0%	18	34.6%	5	8.6%	330	9.2%		
家族の病気療養	2	0.0%	7	13.5%	9	15.5%	445	12.4%		
忙しい(金融機関に行けない等)	1	0.0%	7	13.5%	5	8.6%	258	7.2%		
奨学金の延滞額の増加	3	0.0%	21	40.4%	26	44.8%	1,707	47.5%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	21	0.6%		
その他	1	0.0%	7	13.5%	9	15.5%	311	8.7%		
回答者数	4	-	52	-	58	-	3,595	-		

(5)延滞が継続している理由と年収との関係

延滞が継続している理由と本人の年収との関連性をみた。

「年収 0 円」では、延滞が継続している理由は「本人が失業中（無職）」が 55.2%で最も高く、次いで「奨学金の延滞額の増加」が 36.8%となっている。「年収 1～300 万円未満」では、「本人の低所得」が最も高い。一方、「年収 300 万～800 万円未満」では、「奨学金の延滞額の増加」が「本人の低所得」を上回っている。

表 5-5

継続の理由	0円		1～100万円未満		100万～200万円未満		200万～300万円未満	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	121	24.2%	462	67.2%	577	67.2%	423	58.2%
本人が失業中(無職)	276	55.2%	180	26.2%	80	9.3%	31	4.3%
本人が学生(留学を含む)	7	1.4%	9	1.3%	3	0.3%	4	0.6%
本人が病気療養中	81	16.2%	72	10.5%	63	7.3%	30	4.1%
本人の借入金の返済	44	8.8%	156	22.7%	212	24.7%	224	30.8%
本人親の経済困難(本人が親への経済援助をしており支出が多い)	68	13.6%	129	18.8%	239	27.8%	235	32.3%
本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)	136	27.2%	137	19.9%	159	18.5%	147	20.2%
本人の配偶者の経済困難	61	12.2%	83	12.1%	68	7.9%	48	6.6%
家族の病気療養	53	10.6%	94	13.7%	100	11.6%	88	12.1%
忙しい(金融機関に行けない等)	6	1.2%	26	3.8%	43	5.0%	80	11.0%
奨学金の延滞額の増加	184	36.8%	307	44.7%	401	46.7%	368	50.6%
奨学金は返還するものだとは思っていない	4	0.8%	8	1.2%	3	0.3%	4	0.6%
その他	45	9.0%	36	5.2%	58	6.8%	56	7.7%
回答者数	500	-	687	-	859	-	727	-

継続の理由	300万～400万円未満		400万～500万円未満		500万～600万円未満		600万～700万円未満	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	189	43.2%	49	28.0%	15	18.8%	6	17.1%
本人が失業中(無職)	17	3.9%	3	1.7%	2	2.5%	0	0.0%
本人が学生(留学を含む)	0	0.0%	1	0.6%	3	3.8%	0	0.0%
本人が病気療養中	10	2.3%	6	3.4%	3	3.8%	0	0.0%
本人の借入金の返済	157	35.9%	77	44.0%	32	40.0%	11	31.4%
本人親の経済困難(本人が親への経済援助をしており支出が多い)	148	33.9%	52	29.7%	22	27.5%	11	31.4%
本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)	63	14.4%	19	10.9%	8	10.0%	1	2.9%
本人の配偶者の経済困難	34	7.8%	13	7.4%	8	10.0%	3	8.6%
家族の病気療養	57	13.0%	10	5.7%	11	13.8%	6	17.1%
忙しい(金融機関に行けない等)	47	10.8%	23	13.1%	13	16.3%	5	14.3%
奨学金の延滞額の増加	222	50.8%	85	48.6%	42	52.5%	21	60.0%
奨学金は返還するものだとは思っていない	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	40	9.2%	15	8.6%	14	17.5%	3	8.6%
回答者数	437	-	175	-	80	-	35	-

(単位:人)

継続の理由	700万～800万円未満		800万～900万円未満		900万～1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	1	4.5%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	1,883	54.9%
本人が失業中(無職)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	606	17.7%
本人が学生(留学を含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	28	0.8%
本人が病気療養中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	274	8.0%
本人の借入金の返済	10	45.5%	3	33.3%	2	28.6%	3	60.0%	948	27.7%
本人親の経済困難(本人が親への経済援助をしており支出が多い)	6	27.3%	4	44.4%	3	42.9%	0	0.0%	944	27.5%
本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)	3	13.6%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	738	21.5%
本人の配偶者の経済困難	1	4.5%	0	0.0%	1	14.3%	1	20.0%	330	9.6%
家族の病気療養	2	9.1%	2	22.2%	0	0.0%	1	20.0%	445	13.0%
忙しい(金融機関に行けない等)	4	18.2%	2	22.2%	0	0.0%	1	20.0%	258	7.5%
奨学金の延滞額の増加	12	54.5%	3	33.3%	2	28.6%	2	40.0%	1,707	49.8%
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	21	0.6%
その他	2	9.1%	2	22.2%	3	42.9%	1	20.0%	311	9.1%
回答者数	22	-	9	-	7	-	5	-	3,428	-

(6)延滞が継続している理由と職業との関係

延滞が継続している理由と職業との関連性をみた。

「非常勤社(職)員」、「派遣職員」、「自営業/家業」では、延滞が継続している理由として「本人の低所得」が最も高い。「常勤社(職)員」、「専業主婦(夫)」では、「本人の低所得」は他の職業に比べて低く、「奨学金の延滞額の増加」が最も高い。

表 5-6

(単位:人)

継続の理由	職業		常勤社(職)員(雇用期限がある)		非常勤社(職)員		派遣社員		自営業/家業	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	628	44.0%	139	56.7%	440	74.1%	174	72.2%	121	67.2%
本人が失業中(無職)	32	2.2%	14	5.7%	45	7.6%	15	6.2%	7	3.9%
本人が学生(留学を含む)	5	0.4%	1	0.4%	4	0.7%	1	0.4%	0	0.0%
本人が病気療養中	40	2.8%	14	5.7%	46	7.7%	14	5.8%	8	4.4%
本人の借入金の返済	451	31.6%	78	31.8%	162	27.3%	73	30.3%	55	30.6%
本人親の経済困難(本人が親への経済援助をしており支出が多い)	431	30.2%	79	32.2%	162	27.3%	69	28.6%	47	26.1%
本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)	258	18.1%	39	15.9%	108	18.2%	47	19.5%	25	13.9%
本人の配偶者の経済困難	101	7.1%	26	10.6%	68	11.4%	21	8.7%	12	6.7%
家族の病気療養	153	10.7%	46	18.8%	82	13.8%	30	12.4%	18	10.0%
忙しい(金融機関に行けない等)	161	11.3%	23	9.4%	23	3.9%	16	6.6%	9	5.0%
奨学金の延滞額の増加	686	48.1%	129	52.7%	291	49.0%	111	46.1%	86	47.8%
奨学金は返還するものだとは思っていない	5	0.4%	0	0.0%	5	0.8%	1	0.4%	2	1.1%
その他	139	9.7%	13	5.3%	41	6.9%	17	7.1%	10	5.6%
回答者数	1,427	-	245	-	594	-	241	-	180	-

継続の理由	職業		学生(留学を含む)		専業主婦(夫)		無職・失業中/休職中		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の低所得	8	57.1%	72	29.9%	215	37.6%	62	36.9%	1,883	52.8%		
本人が失業中(無職)	1	7.1%	100	41.5%	367	64.2%	18	10.7%	606	17.0%		
本人が学生(留学を含む)	9	64.3%	0	0.0%	6	1.0%	1	0.6%	28	0.8%		
本人が病気療養中	1	7.1%	17	7.1%	101	17.7%	28	16.7%	274	7.7%		
本人の借入金の返済	1	7.1%	24	10.0%	83	14.5%	19	11.3%	948	26.6%		
本人親の経済困難(本人が親への経済援助をしており支出が多い)	1	7.1%	41	17.0%	83	14.5%	25	14.9%	944	26.5%		
本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)	5	35.7%	74	30.7%	125	21.9%	32	19.0%	738	20.7%		
本人の配偶者の経済困難	1	7.1%	57	23.7%	33	5.8%	11	6.5%	330	9.3%		
家族の病気療養	1	7.1%	18	7.5%	73	12.8%	18	10.7%	445	12.5%		
忙しい(金融機関に行けない等)	1	7.1%	10	4.1%	9	1.6%	3	1.8%	258	7.2%		
奨学金の延滞額の増加	4	28.6%	101	41.9%	233	40.7%	47	28.0%	1,707	47.9%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	0	0.0%	6	1.0%	2	1.2%	21	0.6%		
その他	1	7.1%	16	6.6%	33	5.8%	36	21.4%	311	8.7%		
回答者数	14	-	241	-	572	-	168	-	3,567	-		

(7)今後の返還の見通し（択一）

延滞者に対し、今後の返還の見通しについて質問した。

現在における返還の見通しについて、「決められた月額等を返還できると思う」と回答した者は29.8%に対し、決められた月額等より少ない金額で返還できると回答した者の合計は51.3%と過半数を超えている。

さらに、2～3年から数年経過した時点における返還の見通しについて質問したところ、「決められた月額等を返還できると思う」と回答した者は、現在の見通しよりも8.5%高い38.3%となっている。

表 5-7-1（現在における返還の見通し）

（単位：人）

区分	延滞者							
	26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	1,085	29.8%	1,292	32.6%	1,163	31.2%	1,228	30.3%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	362	10.0%	330	8.3%	306	8.2%	2,035	50.2%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	601	16.5%	698	17.6%	693	18.6%		
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	902	24.8%	976	24.6%	896	24.0%		
返還できないと思う	259	7.1%	291	7.3%	290	7.8%	412	10.2%
わからない	427	11.7%	382	9.6%	383	10.3%	379	9.3%
計	3,636	100.0%	3,969	100.0%	3,731	100.0%	4,054	100.0%
無回答	128		170		142			

表 5-7-2（2～3年から数年経過した時点における返還の見通し）

（単位：人）

区分	延滞者							
	26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	1,325	38.3%	1,525	39.8%	1,549	42.6%	1,714	43.4%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	342	9.9%	411	10.7%	379	10.4%	1,328	33.6%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	387	11.2%	437	11.4%	396	10.9%		
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	413	11.9%	463	12.1%	449	12.3%		
返還できないと思う	84	2.4%	99	2.6%	68	1.9%	78	2.0%
わからない	913	26.4%	892	23.3%	799	22.0%	830	21.0%
計	3,464	100.0%	3,827	100.0%	3,640	100.0%	3,950	100.0%
無回答	300		312		233			

表 5-7-3 (現在の返還の見通しと年収)

返還の見通し	0円		1～ 100万円未満		100万～ 200万円未満		200万～ 300万円未満		300万～ 400万円未満		400万～ 500万円未満	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	110	22.5%	147	22.2%	215	25.4%	213	29.7%	175	41.1%	83	48.8%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	23	4.7%	45	6.8%	80	9.5%	82	11.4%	74	17.4%	28	16.5%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	64	13.1%	97	14.6%	161	19.1%	150	20.9%	69	16.2%	20	11.8%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	133	27.3%	209	31.5%	237	28.0%	166	23.1%	68	16.0%	23	13.5%
返還できないと思う	69	14.1%	66	10.0%	54	6.4%	40	5.6%	11	2.6%	4	2.4%
わからない	89	18.2%	99	14.9%	98	11.6%	67	9.3%	29	6.8%	12	7.1%
計	488	100.0%	663	100.0%	845	100.0%	718	100.0%	426	100.0%	170	100.0%

(単位:人)

返還の見通し	500万～ 600万円未満		600万～ 700万円未満		700万～ 800万円未満		800万～ 900万円未満		900万～ 1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	38	49.4%	17	50.0%	12	57.1%	8	100.0%	3	42.9%	4	80.0%	1,025	29.6%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	12	15.6%	3	8.8%	1	4.8%	0	0.0%	1	14.3%	1	20.0%	350	10.1%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	4	5.2%	4	11.8%	2	9.5%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	572	16.5%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	13	16.9%	8	23.5%	4	19.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	862	24.9%
返還できないと思う	5	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	249	7.2%
わからない	5	6.5%	2	5.9%	2	9.5%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	404	11.7%
計	77	100.0%	34	100.0%	21	100.0%	8	100.0%	7	100.0%	5	100.0%	3,462	100.0%

表 5-7-4 (2～3年から数年経過した時点における返還の見通しと年収)

返還の見通し	0円		1～ 100万円未満		100万～ 200万円未満		200万～ 300万円未満		300万～ 400万円未満		400万～ 500万円未満	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	133	28.5%	200	31.7%	278	34.3%	273	39.6%	210	51.3%	98	60.9%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	28	6.0%	50	7.9%	91	11.2%	82	11.9%	43	10.5%	21	13.0%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	65	13.9%	71	11.3%	88	10.9%	84	12.2%	41	10.0%	5	3.1%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	57	12.2%	95	15.1%	100	12.3%	80	11.6%	35	8.6%	10	6.2%
返還できないと思う	23	4.9%	17	2.7%	14	1.7%	12	1.7%	6	1.5%	1	0.6%
わからない	161	34.5%	198	31.4%	239	29.5%	158	22.9%	74	18.1%	26	16.1%
計	467	100.0%	631	100.0%	810	100.0%	689	100.0%	409	100.0%	161	100.0%

(単位:人)

返還の見通し	500万～ 600万円未満		600万～ 700万円未満		700万～ 800万円未満		800万～ 900万円未満		900万～ 1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	40	51.9%	20	60.6%	11	57.9%	7	100.0%	3	42.9%	3	60.0%	1,276	38.5%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	7	9.1%	4	12.1%	3	15.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	330	10.0%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	5	6.5%	2	6.1%	2	10.5%	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	365	11.0%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	6	7.8%	4	12.1%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	389	11.7%
返還できないと思う	4	5.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	78	2.4%
わからない	15	19.5%	3	9.1%	1	5.3%	0	0.0%	1	14.3%	1	20.0%	877	26.5%
計	77	100.0%	33	100.0%	19	100.0%	7	100.0%	7	100.0%	5	100.0%	3,315	100.0%

表 5-7-5 (数年後の返還の見通しと現在の返還の見通しとの関係)

(単位:人)

数年後	現在 所定の額 返還できる		所定の半額以上 返還できる		所定の半額程度 返還できる		所定の半額以下 は返還できる		返還できない		わからない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還できると思う	735	74.5%	157	44.5%	191	32.6%	145	16.8%	45	17.8%	48	11.7%	1,321	38.3%
決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う	52	5.3%	122	34.6%	87	14.8%	65	7.5%	6	2.4%	9	2.2%	341	9.9%
決められた月額等の半額程度返還できると思う	23	2.3%	13	3.7%	175	29.9%	127	14.8%	31	12.3%	18	4.4%	387	11.2%
決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う	9	0.9%	3	0.8%	31	5.3%	277	32.2%	51	20.2%	39	9.5%	410	11.9%
返還できないと思う	12	1.2%	3	0.8%	8	1.4%	12	1.4%	45	17.8%	4	1.0%	84	2.4%
わからない	156	15.8%	55	15.6%	94	16.0%	235	27.3%	75	29.6%	292	71.2%	907	26.3%
計	987	100.0%	353	100.0%	586	100.0%	861	100.0%	253	100.0%	410	100.0%	3,450	100.0%

6 返還期限の猶予制度について

返還期限の猶予制度に関しては、案内資料を請求書に同封するほか、振替不能通知などの延滞督促に記載している。また、学校における奨学金に関する各種説明会での説明事項に含めている。

(1) 猶予制度の認知状況（択一）

今回の調査から、「知っている」を「奨学金に申し込む前から知っていた」、「返還が始まる前までには知っていた」、「返還が始まってから知った」、「延滞督促を受けてから知った」の4種類に分割し、「知らない」と併せて5肢の選択回答とした。

返還が始まる前までに認知していた者は、無延滞者では合計で34.1%であるのに対し、延滞者では合計で4.8%と、延滞者と無延滞者では認知時期に大きな差がみられる。延滞者では「延滞督促を受けてから知った」と回答した者が44.1%で最も高い。貸与の早い段階での制度認知と延滞状況が密接に関係していると認められる。

従来「知っている」、「知らない」の2区分でみると、今回の調査では過去3年間の結果に比べて、延滞者、無延滞者ともに猶予制度の認知度は10%以上高くなり、大きく改善している。

表 6-1-1

(単位:人)

区分	26年度						(参考)25年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
奨学金に申し込む前から知っていた	77	2.1%	64.3%	279	13.0%	59.0%	1,873	46.4%	1,159	46.2%
返還が始まる前までには知っていた	101	2.7%		453	21.1%					
返還が始まってから知った	568	15.4%		484	22.5%					
延滞督促を受けてから知った	1,625	44.1%		51	2.4%					
知らない	1,314	35.7%	35.7%	880	41.0%	41.0%	2,161	53.6%	1,349	53.8%
計	3,685	100.0%	100.0%	2,147	100.0%	100.0%	4,034	100.0%	2,508	100.0%
無回答	79			23			105		14	

区分	(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学金に申し込む前から知っていた	1,632	42.9%	1,164	47.0%	1,772	43.3%	490	43.9%
返還が始まる前までには知っていた								
返還が始まってから知った								
延滞督促を受けてから知った								
知らない	2,169	57.1%	1,310	53.0%	2,316	56.7%	626	56.1%
計	3,801	100.0%	2,474	100.0%	4,088	100.0%	1,116	100.0%
無回答	72		3					

表 6-1-2 (回答者:「奨学生本人」のみ)

(単位:人)

区分	26年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学金に申し込む前から知っていた	39	1.7%	178	11.4%
返還が始まる前までには知っていた	79	3.4%	357	22.9%
返還が始まってから知った	382	16.2%	344	22.1%
延滞督促を受けてから知った	1,079	45.9%	35	2.2%
知らない	773	32.9%	646	41.4%
計	2,352	100.0%	1,560	100.0%
無回答	16		12	

(2)猶予制度の認知状況と年齢との関係

表 6-2-1 (延滞者)

(単位:人)

年齢	認知状況		奨学金に申し込む前 前から知っていた		返還が始まる前ま でには知っていた		返還が始まってか ら知った		延滞督促を受けて から知った		知らない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～24	6	4.5%	3	2.2%	26	19.4%	63	47.0%	36	26.9%	134	100.0%		
25～29	17	2.4%	32	4.4%	111	15.4%	307	42.6%	253	35.1%	720	100.0%		
30～34	25	2.1%	28	2.4%	187	15.9%	525	44.8%	408	34.8%	1,173	100.0%		
35～39	18	2.8%	15	2.3%	95	14.6%	290	44.5%	233	35.8%	651	100.0%		
40～44	5	1.0%	8	1.6%	71	14.5%	216	44.0%	191	38.9%	491	100.0%		
45～49	3	0.9%	10	3.1%	46	14.3%	137	42.5%	126	39.1%	322	100.0%		
50～	3	1.6%	5	2.6%	32	16.6%	87	45.1%	66	34.2%	193	100.0%		
計	77	2.1%	101	2.7%	568	15.4%	1,625	44.1%	1,313	35.6%	3,684	100.0%		

表 6-2-2 (無延滞者)

(単位:人)

年齢	認知状況		奨学金に申し込む前 前から知っていた		返還が始まる前ま でには知っていた		返還が始まってか ら知った		延滞督促を受けて から知った		知らない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～24	76	17.4%	130	29.7%	68	15.6%	7	1.6%	156	35.7%	437	100.0%		
25～29	122	13.9%	202	23.0%	196	22.3%	18	2.0%	341	38.8%	879	100.0%		
30～34	43	7.9%	79	14.5%	145	26.6%	16	2.9%	262	48.1%	545	100.0%		
35～39	25	12.3%	32	15.7%	52	25.5%	8	3.9%	87	42.6%	204	100.0%		
40～44	7	12.7%	6	10.9%	20	36.4%	2	3.6%	20	36.4%	55	100.0%		
45～49	4	22.2%	3	16.7%	2	11.1%	0	0.0%	9	50.0%	18	100.0%		
50～	2	22.2%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	5	55.6%	9	100.0%		
計	279	13.0%	453	21.1%	484	22.5%	51	2.4%	880	41.0%	2,147	100.0%		

(3)猶予制度の認知状況と年収との関係

表 6-3-1 (延滞者)

(単位:人)

年収	認知状況		奨学金に申し込む前 前から知っていた		返還が始まる前ま でには知っていた		返還が始まってか ら知った		延滞督促を受けて から知った		知らない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	6	1.2%	15	3.1%	58	11.8%	222	45.2%	190	38.7%	491	100.0%		
1円～100万円未満	12	1.8%	20	2.9%	93	13.7%	302	44.5%	252	37.1%	679	100.0%		
100万～200万円未満	18	2.1%	21	2.5%	143	16.9%	391	46.1%	275	32.4%	848	100.0%		
200万～300万円未満	8	1.1%	21	2.9%	125	17.4%	320	44.4%	246	34.2%	720	100.0%		
300万～400万円未満	20	4.6%	9	2.1%	83	19.2%	194	44.9%	126	29.2%	432	100.0%		
400万～500万円未満	6	3.4%	2	1.1%	30	17.1%	75	42.9%	62	35.4%	175	100.0%		
500万～600万円未満	3	3.8%	2	2.5%	14	17.5%	32	40.0%	29	36.3%	80	100.0%		
600万～700万円未満	0	0.0%	2	5.9%	6	17.6%	15	44.1%	11	32.4%	34	100.0%		
700万～800万円未満	1	4.5%	1	4.5%	2	9.1%	6	27.3%	12	54.5%	22	100.0%		
800万～900万円未満	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	66.7%	2	22.2%	9	100.0%		
900万～1000万円未満	0	0.0%	3	42.9%	0	0.0%	1	14.3%	3	42.9%	7	100.0%		
1000万円以上	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	60.0%	5	100.0%		
計	75	2.1%	97	2.8%	554	15.8%	1,565	44.7%	1,211	34.6%	3,502	100.0%		

表 6-3-2 (無延滞者)

(単位:人)

年収	奨学金に申し込む 前から知っていた		返還が始まる前ま では知っていた		返還が始まってか ら知った		延滞督促を受けて から知った		知らない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	18	13.4%	30	22.4%	34	25.4%	6	4.5%	46	34.3%	134	100.0%
1円～100万円未満	20	13.1%	39	25.5%	33	21.6%	5	3.3%	56	36.6%	153	100.0%
100万～200万円未満	34	10.3%	81	24.5%	73	22.1%	11	3.3%	132	39.9%	331	100.0%
200万～300万円未満	71	13.1%	134	24.7%	117	21.5%	10	1.8%	211	38.9%	543	100.0%
300万～400万円未満	60	13.5%	83	18.6%	99	22.2%	10	2.2%	194	43.5%	446	100.0%
400万～500万円未満	31	13.8%	34	15.1%	54	24.0%	5	2.2%	101	44.9%	225	100.0%
500万～600万円未満	17	12.7%	25	18.7%	31	23.1%	1	0.7%	60	44.8%	134	100.0%
600万～700万円未満	13	17.8%	11	15.1%	18	24.7%	0	0.0%	31	42.5%	73	100.0%
700万～800万円未満	3	8.8%	6	17.6%	8	23.5%	0	0.0%	17	50.0%	34	100.0%
800万～900万円未満	2	13.3%	3	20.0%	3	20.0%	0	0.0%	7	46.7%	15	100.0%
900万～1000万円未満	2	15.4%	2	15.4%	1	7.7%	1	7.7%	7	53.8%	13	100.0%
1000万円以上	2	12.5%	2	12.5%	7	43.8%	0	0.0%	5	31.3%	16	100.0%
計	273	12.9%	450	21.3%	478	22.6%	49	2.3%	867	41.0%	2,117	100.0%

(4) 猶予制度の申請状況 (択一)

延滞者のうち(1)で「知らない」以外を選択した者に、猶予の申請状況を質問した。

猶予制度を「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」が 35.1%で最も高い。

表 6-4

(単位:人)

区分	26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現在、利用中である	202	15.0%	198	11.6%	192	12.7%	240	13.9%
申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む)	155	11.5%	146	8.6%	176	11.6%	186	10.8%
過去に利用したことがあるが、今は利用していない	472	35.1%	835	48.9%	706	46.6%	739	42.8%
一度も利用したことがない	405	30.1%	437	25.6%	396	26.1%	445	25.8%
その他	111	8.3%	91	5.3%	46	3.0%	115	6.7%
計	1,345	100.0%	1,707	100.0%	1,516	100.0%	1,725	100.0%
無回答	1,026		166		116			

(5) 猶予申請しない理由 (択一)

延滞者のうち(4)で「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」と回答した者に、猶予を申請しない理由を質問した。「すでに猶予期間(通算 120 か月)を利用してしまったため」が 38.1%で最も高い。

表 6-5 (「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」理由)

(単位:人)

区分	26年度	
	人数	割合
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	68	15.0%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	35	7.7%
すでに猶予期間(通算120ヶ月)を利用してしまったため	172	38.1%
猶予申請しないで返還する予定のため	44	9.7%
猶予申請手続きに手間がかかるため	43	9.5%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	53	11.7%
その他	37	8.2%
計	452	100.0%
無回答	20	

(6)猶予申請しない理由（択一）

延滞者のうち(4)で「一度も利用したことがない」と回答した者に、猶予を申請しない理由を質問した。「手続きがよくわからない、よく知らなかったため」が38.8%で最も高く、次いで「返還期限猶予制度の基準に該当しないため」が21.1%で高い。

表 6-6（「一度も利用したことがない」理由）（単位：人）

区分	26年度	
	人数	割合
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	69	21.1%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	28	8.6%
すでに猶予期間(通算120ヶ月)を利用してしまったため	6	1.8%
猶予申請しないで返還する予定のため	47	14.4%
猶予申請手続きに手間がかかるため	31	9.5%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	127	38.8%
その他	19	5.8%
計	327	100.0%
無回答	78	

(7)猶予制度をどこから知ったか（あてはまるものを全て選択）

延滞者は「機構（旧日本育英会）からの通知で」、「相談センターに電話して」、「債権回収会社から」猶予制度を知ったと回答した者が無延滞者よりも高い。無延滞者は「返還のてびきを読んで」、「奨学金申請時・採用時の資料で」、「学校の説明会で」猶予制度を知ったと回答した者が延滞者よりも高い。

表 6-7（単位：人）

区分	26年度				(参考)25年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学金申請時・採用時の資料で	176	10.9%	458	47.6%	312	18.2%	590	52.4%
「返還のてびき」を読んで	419	25.9%	612	63.6%	554	32.2%	744	66.1%
日本学生支援機構のホームページで	197	12.2%	147	15.3%	238	13.9%	179	15.9%
機構(旧日本育英会)からの通知で	742	45.8%	121	12.6%	761	44.3%	169	15.0%
相談センターに電話して	554	34.2%	18	1.9%	647	37.7%	28	2.5%
学校の説明会で	24	1.5%	160	16.6%	49	2.9%	185	16.4%
連帯保証人・保証人から	54	3.3%	15	1.6%	101	5.9%	28	2.5%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	60	3.7%	43	4.5%	87	5.1%	61	5.4%
債権回収会社から	254	15.7%	6	0.6%	243	14.1%	6	0.5%
その他	36	2.2%	22	2.3%	32	1.9%	30	2.7%
回答者数	1,619	-	963	-	1,718	-	1,125	-
無回答	752		304					

区分	(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学金申請時・採用時の資料で	288	19.2%	564	50.9%	-	-	-	-
「返還のてびき」を読んで	475	31.6%	760	68.7%	615	38.9%	367	74.9%
日本学生支援機構のホームページで	219	14.6%	213	19.2%	257	16.2%	17	3.5%
機構(旧日本育英会)からの通知で	639	42.5%	196	17.7%	721	45.5%	32	6.5%
相談センターに電話して	579	38.5%	43	3.9%	696	44.0%	9	1.8%
学校の説明会で	44	2.9%	181	16.4%	77	4.9%	29	5.9%
連帯保証人・保証人から	84	5.6%	37	3.3%	117	7.4%	9	1.8%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	62	4.1%	59	5.3%	81	5.1%	10	2.0%
債権回収会社から	197	13.1%	6	0.5%	-	-	-	-
その他	24	1.6%	24	2.2%	18	1.1%	3	0.6%
回答者数	1,503	-	1,107	-	1,583	-	490	-

(8)猶予制度の猶予期間の長さ(通算120か月)(択一)

延滞者のうち(1)で「知らない」以外を選択した者に、猶予期間の長さについて質問した。

平成26年度は平成25年度と比べて、「短い」または「どちらかといえば短い」と回答した者の合計が10%程度低く、「十分」または「どちらかといえば十分」の合計が5%程度高くなっている。これは、平成26年度より、猶予期間の長さが通算60か月から120か月に延長されたことが影響していると考えられる。

表6-8(延滞者のみ)

(単位:人)

区分	26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
短い	366	21.8%	510	28.5%	412	26.2%	429	25.2%
どちらかといえば短い	181	10.8%	242	13.5%	208	13.2%	241	14.2%
どちらともいえない	853	50.8%	832	46.5%	711	45.2%	750	44.0%
どちらかといえば十分	169	10.1%	121	6.8%	138	8.8%	170	10.0%
十分	111	6.6%	85	4.7%	104	6.6%	113	6.6%
計	1,680	100.0%	1,790	100.0%	1,573	100.0%	1,703	100.0%
無回答	691		83		59			

7 奨学金返還のための振替用口座（リレー口座）による返還状況

(1) 振替用口座（リレー口座）加入の有無（択一）

表 7-1

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
加入している	1,259	34.7%	1,884	87.9%
加入していない	2,374	65.3%	260	12.1%
計	3,633	100.0%	2,144	100.0%
無回答	131		26	

(2) 振替用口座（リレー口座）の名義人（択一）

(1)で振替用口座（リレー口座）に「加入している」と回答した者に、口座名義人について質問した。

口座名義人が「奨学生本人」と回答した者は、延滞者 88.2%、無延滞者 93.0%となっている。「本人の父母」と回答した者は、延滞者 10.4%、無延滞者 6.1%で延滞者の方が高い。

表 7-2

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	1,094	88.2%	1,741	93.0%
本人の父母	129	10.4%	115	6.1%
本人の兄弟姉妹	1	0.1%	0	0.0%
本人の祖父母	0	0.0%	0	0.0%
本人のおじ・おば	1	0.1%	0	0.0%
本人の配偶者	2	0.2%	15	0.8%
その他	13	1.0%	1	0.1%
計	1,240	100.0%	1,872	100.0%
無回答	19		12	

(3) 口座名義人（「奨学生本人」以外）の保証制度との関係（択一）

(2)で口座名義人について「奨学生本人」以外を選択した者に、保証制度との関係を質問した。

表 7-3

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
① 連帯保証人	59	43.1%	50	39.1%
② 保証人	43	31.4%	34	26.6%
③ 機関保証の「本人以外の連絡先」である	3	2.2%	9	7.0%
④ 「①～③」の二つ以上にあてはまる	9	6.6%	9	7.0%
⑤ 「①～④」にあてはまらない	7	5.1%	15	11.7%
⑥ わからない	16	11.7%	11	8.6%
計	137	100.0%	128	100.0%
無回答	9		3	

(4)振替用口座（リレー口座）のその他の用途（あてはまるものを全て選択）

(1)で振替用口座（リレー口座）に「加入している」と回答した者に、口座の用途を質問した。

延滞者は無延滞者に比べて「給与・年金・仕送り等収入を振り込んでいる」、「公共料金やクレジットカードなど定期的な支払いを引き落としている」と回答した者が少なく、「奨学金返還専用（又は順専用）」と回答した者が多い。

表 7-4

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
給与・年金・仕送り等収入を振り込んでいる	619	50.9%	1,126	60.7%
公共料金やクレジットカードなど定期的な支払いを引き落としている	443	36.4%	956	51.5%
預貯金用	246	20.2%	523	28.2%
奨学金返還専用(又は準専用)	467	38.4%	649	35.0%
その他	58	4.8%	14	0.8%
回答者数	1,216	-	1,855	-
無回答	43		29	

(5)振替用口座（リレー口座）への入金状況（択一）

(1)で振替用口座（リレー口座）に「加入している」と回答した者に、口座への入金状況について質問した。

延滞者では「毎回又はほぼ毎回必要額を入金」と回答した者が 45.5%で最も高い。無延滞者では「給与等の収入が振り込まれる」と回答した者が 56.7%で最も高い。

表 7-5

(単位:人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
給与等の収入が振り込まれる	422	35.6%	1,049	56.7%
年に数回程度必要額を入金	128	10.8%	257	13.9%
毎回又はほぼ毎回必要額を入金	540	45.5%	518	28.0%
その他	96	8.1%	26	1.4%
計	1,186	100.0%	1,850	100.0%
無回答	73		34	

8 無延滞者のこれまでの返還状況（無延滞者のみ回答）

(1)延滞経験の有無（択一）

無延滞者に対し、過去に延滞の経験があるかどうか質問した。

「延滞したことがある」者は21.2%となっている。

表 8-1

（単位：人）

区分	26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
延滞したことがない	1,568	72.5%	1,901	76.1%	1,819	74.3%	836	76.5%
延滞したことがある	458	21.2%	469	18.8%	491	20.0%	200	18.3%
わからない	137	6.3%	129	5.2%	139	5.7%	57	5.2%
計	2,163	100.0%	2,499	100.0%	2,449	100.0%	1,093	100.0%
無回答	7		23		28			

(2)延滞になったことを知ったきっかけ（あてはまるものを全て選択）

(1)で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞になったことを知ったきっかけを質問した。

「機構（旧日本育英会）からの振替不能（延滞）通知」が78.7%で最も高く、次いで「機構（旧日本育英会）からの電話」が34.3%で高い。

表 8-2

（単位：人）

区分	26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知	340	78.7%	359	79.2%	361	76.8%	144	72.0%
機構(旧日本育英会)からの電話	148	34.3%	136	30.0%	172	36.6%	50	25.0%
連帯保証人・保証人からの連絡	53	12.3%	39	8.6%	29	6.2%	14	7.0%
口座残高を確認して	115	26.6%	144	31.8%	140	29.8%	43	21.5%
親・家族等からの連絡	51	11.8%	51	11.3%	44	9.4%	16	8.0%
債権回収会社からの連絡	35	8.1%	53	11.7%	42	8.9%	20	10.0%
その他	11	2.5%	8	1.8%	5	1.1%	4	2.0%
回答者数	432	-	453	-	470	-	200	-
無回答	26							

(3)延滞の解消方法（あてはまるものを全て選択）

(1)で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞を解消した方法を質問した。

「本人が延滞額を支払った（口座振替を含む）」と回答した者が82.7%で最も高い。

表 8-3

（単位：人）

区分	26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が延滞額を支払った(口座振替を含む)	359	82.7%	386	85.2%	372	78.6%	145	77.5%
本人以外が延滞額を支払った(口座振替を含む)	74	17.1%	64	14.1%	87	18.4%	35	18.7%
猶予願が承認された	34	7.8%	29	6.4%	39	8.2%	26	13.9%
その他	8	1.8%	6	1.3%	6	1.3%	3	1.6%
回答者数	434	-	453	-	473	-	187	-
無回答	24							

(4)延滞をより早く解消できたと思われる返還方法（あてはまるものを全て選択）

(1)で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞をより早く解消できたと思われる返還方法を質問した。

「払込票（コンビニ支払い）」と回答した者が 64.1%で最も高く、次いで「振替用口座（リレー口座）からの引き落とし（延滞額の一部でも）」と回答した者が 47.9%で高い。

表 8-4

（単位：人）

区分	26年度		（参考）25年度		（参考）24年度		（参考）23年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
振替用口座（リレー口座）からの引落とし（延滞額の一部でも）	184	47.9%	180	46.8%	191	48.8%	53	31.5%
機構の口座への振込み	77	20.1%	96	24.9%	74	18.9%	40	23.8%
払込票（コンビニ支払い）	246	64.1%	244	63.4%	188	48.1%	107	63.7%
インターネットバンキング（振込）	59	15.4%	57	14.8%	52	13.3%	19	11.3%
債権回収会社	7	1.8%	2	0.5%	2	0.5%	2	1.2%
その他	10	2.6%	10	2.6%	5	1.3%	4	2.4%
回答者数	384	-	385	-	391	-	168	-
無回答	74							

※ 平成 25 年度までは、2 つまで選択。平成 26 年度は当てはまるものを全て選択。

9 日本学生支援機構の奨学金制度の認知状況

(1)減額返還制度の認知状況（択一）

減額返還制度について、「知っている（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）」と回答した者は、延滞者 21.8%に対し、無延滞者 38.8%で無延滞者の方が 17.0%高い。

表 9-2

(単位:人)

区分	26年度				(参考)25年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	126	3.5%	88	4.1%	173	4.3%	104	4.1%
だいたい知っている	661	18.3%	741	34.7%	700	17.4%	750	29.9%
あまり知らない	985	27.2%	500	23.4%	962	23.9%	659	26.3%
知らない	1,843	51.0%	809	37.8%	2,193	54.4%	994	39.6%
計	3,615	100.0%	2,138	100.0%	4,028	100.0%	2,507	100.0%
無回答	149		32		111		15	

区分	(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	156	4.1%	133	5.4%	169	4.2%	43	3.9%
だいたい知っている	587	15.6%	718	29.2%	581	14.3%	282	25.5%
あまり知らない	958	25.4%	615	25.0%	1,023	25.2%	303	27.3%
知らない	2,065	54.8%	995	40.4%	2,283	56.3%	480	43.3%
計	3,766	100.0%	2,461	100.0%	4,056	100.0%	1,108	100.0%
無回答	107		16					

(2)繰上返還制度の認知状況（択一）

表 9-3（無延滞者のみ）

(単位:人)

区分	26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	無延滞者		無延滞者		無延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	386	18.0%	462	18.5%	435	17.7%	202	18.3%
だいたい知っている	1,084	50.6%	1,197	47.8%	1,261	51.4%	545	49.3%
あまり知らない	375	17.5%	483	19.3%	432	17.6%	200	18.1%
知らない	299	13.9%	362	14.5%	326	13.3%	159	14.4%
計	2,144	100.0%	2,504	100.0%	2,454	100.0%	1,106	100.0%
無回答	26		18		23			

(3)個人情報機関への登録の認知状況（択一）

表 9-4（無延滞者のみ）

(単位:人)

区分	26年度		(参考)25年度		(参考)24年度		(参考)23年度	
	無延滞者		無延滞者		無延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	196	9.2%	208	8.3%	205	8.4%	77	7.0%
だいたい知っている	519	24.3%	541	21.6%	462	18.9%	171	15.5%
あまり知らない	563	26.4%	642	25.7%	603	24.6%	264	23.9%
知らない	855	40.1%	1,110	44.4%	1,178	48.1%	592	53.6%
計	2,133	100.0%	2,501	100.0%	2,448	100.0%	1,104	100.0%
無回答	37		21		29			

10 各種情報提供の利用状況

(1)スカラネット・パーソナルの認知状況（択一）

表 10-1-1（無延滞者のみ）

（単位：人）

区分	26年度		（参考）25年度		（参考）24年度	
	無延滞者		無延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よく知っている	163	7.6%	126	5.0%	115	4.7%
だいたい知っている	387	18.1%	347	13.9%	311	12.7%
あまり知らない	524	24.5%	626	25.0%	599	24.5%
知らない	1,067	49.8%	1,403	56.1%	1,424	58.1%
計	2,141	100.0%	2,502	100.0%	2,449	100.0%
無回答	29		20		28	

表 10-1-2（回答者：「奨学生本人」のみ）

（単位：人）

区分	26年度	
	無延滞者	
	人数	割合
よく知っている	151	9.7%
だいたい知っている	296	19.0%
あまり知らない	364	23.3%
知らない	749	48.0%
計	1,560	100.0%
無回答	12	

(2)日本学生支援機構送付文書類の閲覧状況（択一）

日本学生支援機構から送付した文書類について、延滞者の84.6%、無延滞者の87.4%が、「見る（「必ず見る」＋「だいたい見る）」と回答している。

回答者が「奨学生本人」の場合に限っても、同様の傾向である。

表 10-2-1

(単位:人)

区分	26年度				(参考)25年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
必ず見る	1,701	45.8%	1,094	50.6%	1,743	42.8%	1,097	43.6%
だいたい見る	1,441	38.8%	796	36.8%	1,603	39.4%	942	37.5%
あまり見ない	413	11.1%	209	9.7%	472	11.6%	329	13.1%
見ない	68	1.8%	42	1.9%	92	2.3%	71	2.8%
届いていない	48	1.3%	16	0.7%	106	2.6%	67	2.7%
その他	41	1.1%	6	0.3%	53	1.3%	9	0.4%
計	3,712	100.0%	2,163	100.0%	4,069	100.0%	2,515	100.0%
無回答	52		7		70		7	

区分	(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
必ず見る	1,604	42.1%	1,187	48.1%	1,717	41.7%	537	48.6%
だいたい見る	1,480	38.8%	898	36.4%	1,605	39.0%	395	35.7%
あまり見ない	482	12.7%	242	9.8%	520	12.6%	118	10.7%
見ない	96	2.5%	50	2.0%	103	2.5%	18	1.6%
届いていない	120	3.1%	78	3.2%	121	2.9%	35	3.2%
その他	28	0.7%	12	0.5%	54	1.3%	2	0.2%
計	3,810	100.0%	2,467	100.0%	4,120	100.0%	1,105	100.0%
無回答	63		10					

表 10-2-2 (回答者:「奨学生本人」のみ)

(単位:人)

区分	26年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
必ず見る	1,003	42.6%	750	47.7%
だいたい見る	953	40.5%	591	37.6%
あまり見ない	292	12.4%	176	11.2%
見ない	45	1.9%	36	2.3%
届いていない	37	1.6%	12	0.8%
その他	25	1.1%	6	0.4%
計	2,355	100.0%	1,571	100.0%
無回答	13		1	

(3)日本学生支援機構のホームページ閲覧状況（択一）

延滞者の 57.8%、無延滞者の 57.1%が、日本学生支援機構ホームページを「見たことはない」と回答している。回答者を「奨学生本人」の場合に限ると、延滞者の 32.6%、無延滞者の 45.6%が「見た（「およそ1ヶ月に1回以上見る」＋「年に数回見る」＋「過去に見たことがある）」と回答している。

延滞者では「見ることができない」と回答した者が 15.8%で、無延滞者の 2.2%に比べて高い。回答者を「奨学生本人」に限ると 7.2%に半減する。

表 10-3-1

(単位:人)

区分	26年度				(参考)25年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
およそ1ヶ月に1回以上見る	23	0.6%	7	0.3%	28	0.7%	6	0.2%
年に数回見る	154	4.2%	139	6.4%	166	4.1%	123	4.9%
過去に見たことがある	736	20.0%	723	33.4%	746	18.4%	797	31.7%
見たことはない	2,128	57.8%	1,235	57.1%	2,334	57.7%	1,500	59.7%
見ることができない	581	15.8%	48	2.2%	748	18.5%	79	3.1%
その他	58	1.6%	11	0.5%	24	0.6%	7	0.3%
計	3,680	100.0%	2,163	100.0%	4,046	100.0%	2,512	100.0%
無回答	84		7		93		10	

区分	(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
およそ1ヶ月に1回以上見る	19	0.5%	10	0.4%	20	0.5%	4	0.4%
年に数回見る	160	4.2%	156	6.3%	155	3.8%	59	5.3%
過去に見たことがある	631	16.7%	733	29.7%	622	15.2%	303	27.3%
見たことはない	2,189	57.8%	1,486	60.3%	2,382	58.0%	683	61.6%
見ることができない	763	20.2%	76	3.1%	882	21.5%	56	5.0%
その他	22	0.6%	5	0.2%	44	1.1%	4	0.4%
計	3,784	100.0%	2,466	100.0%	4,105	100.0%	1,109	100.0%
無回答	89		11					

表 10-3-2 (回答者:「奨学生本人」のみ)

(単位:人)

区分	26年度			
	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
およそ1ヶ月に1回以上見る	12	0.5%	7	0.4%
年に数回見る	124	5.3%	117	7.4%
過去に見たことがある	631	26.8%	594	37.8%
見たことはない	1,401	59.5%	837	53.2%
見ることができない	169	7.2%	13	0.8%
その他	17	0.7%	4	0.3%
計	2,354	100.0%	1,572	100.0%
無回答	14		0	

11 日本学生支援機構の奨学金に対する意識

(1)日本学生支援機構からの情報提供は十分である（択一）

日本学生支援機構からの情報提供は十分と感じている者（「そう思う」+「とてもそう思う」）は、延滞者では3割程度、無延滞者では4割程度になっている。

表 11-1

(単位:人)

区分	26年度				(参考)25年度				(参考)24年度				(参考)23年度			
	延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者		延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	171	4.8%	95	4.4%	228	5.8%	130	5.2%	239	6.5%	121	4.9%	212	5.3%	48	4.3%
そう思う	948	26.7%	763	35.4%	1,044	26.5%	827	33.0%	979	26.5%	862	35.0%	1,110	27.7%	381	34.5%
どちらともいえない	1,443	40.7%	946	43.9%	1,626	41.2%	1,064	42.5%	1,540	41.7%	1,004	40.8%	1,639	40.8%	483	43.7%
そう思わない	696	19.6%	292	13.5%	750	19.0%	376	15.0%	641	17.3%	386	15.7%	742	18.5%	156	14.1%
まったくそう思わない	288	8.1%	61	2.8%	298	7.6%	108	4.3%	297	8.0%	88	3.6%	310	7.7%	37	3.3%
計	3,546	100.0%	2,157	100.0%	3,946	100.0%	2,505	100.0%	3,696	100.0%	2,461	100.0%	4,013	100.0%	1,105	100.0%
無回答	218		13													

(2)日本学生支援機構の奨学金に対する意識（択一）

延滞者、無延滞者ともに「借りたものなので必ず返さなければならない」と思っている者が9割以上を占め、返還義務に対する意識は高い。一方、延滞者では「奨学金の返還が負担になっている」者が84.4%と高く、無延滞者では「回収は強化すべき」と感じている者が61.2%と高い。

表 11-2-1 (延滞者)

(単位:人)

区分	返還負担度		返還義務度		回収強化度		督促のきびしさ度		給付制度必要度	
	現在、奨学金の返還が負担になっている		借りたものなので必ず返さなければならない		回収は強化するべきである		延滞への対応がきびしい		給付型の奨学金が必要である	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	1,801	50.1%	2,004	55.3%	68	1.9%	649	18.1%	1,335	37.8%
そう思う	1,230	34.2%	1,380	38.1%	275	7.7%	829	23.1%	937	26.5%
どちらともいえない	420	11.7%	208	5.7%	2,156	60.3%	1,535	42.8%	1,077	30.5%
そう思わない	120	3.3%	21	0.6%	767	21.4%	519	14.5%	126	3.6%
まったくそう思わない	21	0.6%	13	0.4%	310	8.7%	53	1.5%	57	1.6%
計	3,592	100.0%	3,626	100.0%	3,576	100.0%	3,585	100.0%	3,532	100.0%
無回答	172		138		188		179		232	

表 11-2-2 (無延滞者)

(単位:人)

区分	返還負担度		返還義務度		回収強化度		督促のきびしさ度		給付制度必要度	
	現在、奨学金の返還が負担になっている		借りたものなので必ず返さなければならない		回収は強化するべきである		延滞への対応がきびしい		給付型の奨学金が必要である	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	298	13.8%	1,387	64.1%	647	29.9%	59	2.8%	537	25.0%
そう思う	506	23.4%	706	32.6%	678	31.3%	127	5.9%	622	28.9%
どちらともいえない	551	25.5%	53	2.4%	748	34.6%	1,025	47.8%	786	36.5%
そう思わない	611	28.3%	12	0.6%	72	3.3%	629	29.4%	142	6.6%
まったくそう思わない	196	9.1%	6	0.3%	19	0.9%	303	14.1%	65	3.0%
計	2,162	100.0%	2,164	100.0%	2,164	100.0%	2,143	100.0%	2,152	100.0%
無回答	8		6		6		27		18	

表 11-3

表 11-1 および表 11-2 について、「そう思う」（「とてもそう思う」＋「そう思う」）、「どちらともいえない」、「そう思わない」（「そう思わない」＋「まったくそう思わない」）で集計した。

(単位:人)

情報提供度	延滞者			無延滞者		
	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
日本学生支援機構からの情報提供は十分である	31.6%	40.7%	27.7%	39.8%	43.9%	16.4%
返還負担度	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
現在、奨学金の返還が負担になっている	84.4%	11.7%	3.9%	37.2%	25.5%	37.3%
返還義務度	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
借りたものなので必ず返さなければならない	93.3%	5.7%	0.9%	96.7%	2.4%	0.8%
回収強化度	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
回収は強化するべきである	9.6%	60.3%	30.1%	61.2%	34.6%	4.2%
督促のきびしさ度	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
延滞への対応がきびしい	41.2%	42.8%	16.0%	8.7%	47.8%	43.5%
給付制度必要度	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
給付型の奨学金が必要である	64.3%	30.5%	5.2%	53.9%	36.5%	9.6%

表 11-4 (本人の年収と返還の負担度/延滞者)

負担になっている	0円		1~100万円未満		100万~200万円未満		200万~300万円未満		300万~400万円未満		400万~500万円未満	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	278	58.4%	368	55.8%	434	52.0%	342	48.0%	180	42.3%	56	32.9%
そう思う	136	28.6%	206	31.2%	294	35.2%	265	37.2%	156	36.6%	74	43.5%
どちらともいえない	48	10.1%	65	9.8%	79	9.5%	84	11.8%	66	15.5%	26	15.3%
そう思わない	14	2.9%	21	3.2%	25	3.0%	16	2.2%	17	4.0%	10	5.9%
まったくそう思わない	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%	6	0.8%	7	1.6%	4	2.4%
計	476	100.0%	660	100.0%	835	100.0%	713	100.0%	426	100.0%	170	100.0%

(単位:人)

負担になっている	500万~600万円未満		600万~700万円未満		700万~800万円未満		800万~900万円未満		900万~1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	42	52.5%	14	40.0%	9	40.9%	4	50.0%	3	42.9%	4	80.0%	1,734	50.5%
そう思う	23	28.8%	11	31.4%	8	36.4%	2	25.0%	2	28.6%	0	0.0%	1,177	34.2%
どちらともいえない	10	12.5%	7	20.0%	5	22.7%	1	12.5%	1	14.3%	1	20.0%	393	11.4%
そう思わない	5	6.3%	3	8.6%	0	0.0%	1	12.5%	1	14.3%	0	0.0%	113	3.3%
まったくそう思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	20	0.6%
計	80	100.0%	35	100.0%	22	100.0%	8	100.0%	7	100.0%	5	100.0%	3,437	100.0%

表 11-5 (本人の年収と返還の負担度/無延滞者)

負担になっている	0円		1~100万円未満		100万~200万円未満		200万~300万円未満		300万~400万円未満		400万~500万円未満	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	30	22.4%	30	19.6%	71	21.5%	70	12.7%	63	14.0%	16	7.1%
そう思う	40	29.9%	39	25.5%	90	27.2%	149	27.0%	83	18.5%	52	23.0%
どちらともいえない	39	29.1%	44	28.8%	88	26.6%	143	25.9%	118	26.3%	45	19.9%
そう思わない	21	15.7%	31	20.3%	69	20.8%	148	26.8%	144	32.1%	93	41.2%
まったくそう思わない	4	3.0%	9	5.9%	13	3.9%	42	7.6%	41	9.1%	20	8.8%
計	134	100.0%	153	100.0%	331	100.0%	552	100.0%	449	100.0%	226	100.0%

(単位:人)

負担になっている	500万~600万円未満		600万~700万円未満		700万~800万円未満		800万~900万円未満		900万~1000万円未満		1000万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	5	3.7%	2	2.7%	4	11.4%	1	6.7%	0	0.0%	1	6.3%	293	13.7%
そう思う	20	14.8%	17	23.3%	7	20.0%	2	13.3%	1	7.7%	2	12.5%	502	23.5%
どちらともいえない	36	26.7%	17	23.3%	5	14.3%	2	13.3%	2	15.4%	3	18.8%	542	25.4%
そう思わない	43	31.9%	24	32.9%	15	42.9%	5	33.3%	5	38.5%	7	43.8%	605	28.4%
まったくそう思わない	31	23.0%	13	17.8%	4	11.4%	5	33.3%	5	38.5%	3	18.8%	190	8.9%
計	135	100.0%	73	100.0%	35	100.0%	15	100.0%	13	100.0%	16	100.0%	2,132	100.0%

奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い

日本学生支援機構では、より一層返還しやすい仕組みを考えるため、返還中の方を対象にアンケート調査を行っています。この調査票は平成26年11月30日現在返還が遅れている方の中から選ばれた方にお送りしています。お忙しいところ恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いします。

回答については、この用紙に直接、番号などをご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、平成27年1月30日(金)までに投函してください。個々の内容について、外部にもれることや調査の目的以外に使用することは決してございません。

今後の返還方法や奨学金制度を充実させるためには、一人でも多くの方から回答をいただくことが大変重要です。重ねて本調査へのご協力をよろしくをお願いします。

平成27年1月

独立行政法人日本学生支援機構
奨学金事業部奨学総務課

この回答用紙または同封の返信用封筒により個別の相談には、対応していません。
奨学金の返還について、ご不明な点は日本学生支援機構ホームページ<<http://www.jasso.go.jp>>をご覧ください。
ご相談、お問い合わせは奨学金返還相談センター 電話:0570-666-301(ナビダイヤル・全国共通)までお願いします。
また、ナビダイヤルをご利用できない場合は03-6743-6100へおかけください。

※以下の設問の中で「奨学生本人」又は「本人」とは奨学金の貸与を受けられた方のことです。

- 1 このアンケートに回答された方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 1
- ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば ⑥本人の配偶者
⑦その他()
- 1-2 設問1で、「②～⑦」と回答した方にお聞きします。 1-2
- 回答された方について、あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
④「①～③」の二つ以上にあてはまる ⑤「①～④」にあてはまらない ⑥わからない
- 2 奨学生本人の状況についてお聞きします。 2
- 本人の就労状況について、最もあてはまる番号を一つ記入してください。
- ①常勤社(職)員 ②常勤社(職)員(雇用期限がある) ③非常勤社(職)員(あたりの勤務時間が短く、雇用期限がある)
④派遣社員 ⑤自営業/家業 ⑥学生(留学を含む) ⑦専業主婦(夫) ⑧無職・失業中/休職中
⑨その他()

- 3 奨学生本人に配偶者はいますか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①いる ②いない ③わからない 3 ^E
- 3-2 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きます。配偶者は被扶養者ですか。
①はい ②いいえ ③わからない 3-2
- 3-3 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きます。配偶者はJASSOの奨学金の貸与を受けていましたか。
①はい ②いいえ ③わからない 3-2
- 4 奨学生本人に被扶養者は何人いますか。
※設問3-2で「①はい」と答えた方は、配偶者も人数に含めてください。
被扶養者がいない場合は「0」と記入してください。わからない場合は無記入としてください。 4
- 5 奨学生本人の収入（最近1年分）についてお聞きます。あてはまる番号を一つ記入してください。
①0円 ②～100万円未満 ③100～200万円未満 ④200～300万円未満
⑤300～400万円未満 ⑥400～500万円未満 ⑦500～600万円未満 ⑧600～700万円未満
⑨700～800万円未満 ⑩800～900万円未満 ⑪900～1000万円未満 ⑫1000万円以上 5
- 6 奨学生本人は奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①申込手続きを行う前 ②申込手続中 ③貸与中 ④貸与終了時 ⑤貸与終了後～返還開始前
⑥返還開始～督促前 ⑦延滞督促を受けてから ⑧わからない ⑨その他() 6
- 7 この問は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きます。
進学することをいつごろ決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点
④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後 ⑥わからない 7
- 8 この問は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きます。
奨学金の申請をいつの段階で決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点
④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後 ⑥わからない 8
- 9 奨学金の申請をどなたかに勧められましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①勧められた ②勧められなかった ③わからない 9
- 9-2 設問9で「①勧められた」と回答した方にお聞きます。
どなたに勧められたか、最もあてはまる番号を一つ記入してください。
①親(または祖父母等の家族、親戚) ②学校の先生や職員 ③友人・知人 その他() 9-2
- 10 奨学金を申請する時に実際に書類作成等をしたのはどなたですか。
最もあてはまる番号を一つ記入してください。
①本人 ②親(または祖父母等の家族、親戚) ③本人と親等 ④わからない ⑤その他() 10
- 11 現在、主に奨学金を返還している方はどなたですか、あてはまる番号を一つ記入してください。
①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば
⑥本人の配偶者 ⑦その他() 11
- 11-2 設問11で「②～⑦」と回答した方にお聞きます。主に奨学金を返還している方について、
あてはまる番号を一つ記入してください。
①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
④①～③の二つ以上にあてはまる ⑤①～④にあてはまらない ⑥わからない 11-2
- 12 奨学金を返還するための原資についてお聞きます。最もあてはまる番号を一つ記入してください。
①給与など働いて得る収入 ②年金など ③預貯金 ④その他() 12



- 13 リレー口座(口座振替による返還)に加入していますか(又は、以前に加入していましたか)。 13
- あてはまる番号を一つ記入してください。
①加入している(加入していた) ②加入していない
- 13-2 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。 13-2ア
- (「②加入していない」と回答した方は設問14へ)
ア)リレー口座の名義人はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば
⑥本人の配偶者 ⑦その他()
- イ)設問アで「②～⑦」と回答した方にお聞きます。 13-2イ
- リレー口座の名義人についてあてはまる番号を一つ記入してください。
①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
④①～③の二つ以上にあてはまる ⑤①～④にあてはまらない ⑥わからない
- 13-3 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。 13-3
- リレー口座としてお使いの口座はどのような用途の口座ですか(でしたか)。
あてはまる番号を全て記入してください。
①給与・年金・仕送り等収入を振り込んでいる
②公共料金やクレジットカードなど定期的な支払いを引き落とししている
③預貯金用 ④奨学金返還専用(又は準専用) ⑤その他()
- 13-4 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。 13-4
- リレー口座にはどのように入金していますか(していましたか)。あてはまる番号を一つ記入してください。
①給与等の収入が振り込まれる ②年に数回程度必要額を入金 ③毎回又はほぼ毎回必要額を入金
④その他()
- 14 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延期する 14
- 返還期限猶予という制度がありますが、この制度の存在をご存知ですか。
あてはまる番号を記入してください。
①奨学金に申し込む前から知っていた ②返還が始まる前までには知っていた
③返還が始まってから知った ④延滞督促を受けてから知った ⑤知らない
- 14-2 設問14で「①知っている」と回答した方にお聞きます(「②知らない」と回答した方は設問15へ) 14-2ア
- ア)返還期限猶予制度(在学猶予を除く)の利用についてお聞きます。
あてはまる番号を一つ記入してください。
①現在、利用中である
②申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む)
③過去に利用したことがあるが、今は利用していない
④一度も利用したことがない
⑤その他()
- イ)設問アで「③過去に利用したことがあるが、今は利用していない」又は「④一度も利用したことがない」と回答 14-2イ
- した方にお聞きます。利用しない理由について最もあてはまる番号を一つ記入してください。
(設問アでそれ以外を選択した方は設問ウへ)
①返還期限猶予制度の基準に該当しないため ②延滞期間に関する証明書の取得が困難なため
③すでに猶予期間(通算120ヶ月)を利用してしまったため ④猶予申請しないで返還する予定のため
⑤猶予申請手続きに手間がかかるため⑥手続きがよくわからない、よく知らなかったため
⑦その他()
- ウ)返還期限猶予制度をどこから知りましたか。 14-2ウ
- あてはまる番号を全て記入してください。
①奨学金申請時・採用時の資料で ②「返還のてびき」を読んで ③日本学生支援機構のホームページで
④機構(旧日本育英会)からの通知で ⑤返還相談センターに電話して ⑥学校の説明会で ⑦連帯保証人・保証人から
⑧連帯保証人・保証人以外の家族・友人から ⑨債権回収会社から ⑩その他()
- エ)返還期限猶予制度の猶予期間の長さ(通算120ヶ月)についてお聞きます。 14-2エ
- あてはまる番号を一つ記入してください。
①短い ②どちらかといえば短い ③どちらともいえない ④どちらかといえば十分 ⑤十分
- 15 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延長し返還の 15
- 月額を減額する減額返還制度がありますが、この制度をご存知ですか。あてはまる番号を記入してください。
①よく知っている ②だいたい知っている ③あまり知らない ④知らない

16 日本学生支援機構からお送りしている文書類についてお聞きします。あてはまる番号を一つ記入してください。 16

- ①必ず見る ②だいたい見る ③あまり見ない ④見ない ⑤届いていない ⑥()

17 日本学生支援機構はホームページで各種情報を提供しています。このホームページの閲覧についてお聞きします。最もあてはまる番号を一つ記入してください。 17

- ①おおよそ1ヶ月に1回以上見る ②年に数回見る ③過去に見たことがある ④見たことはない ⑤見るできない ⑥その他()

18 日本学生支援機構の奨学金に対してどのようなことを感じていますか。ア～カについてそれぞれ、次の①～⑤の中からあてはまる番号を記入してください。

- ①とてもそう思う ②そう思う ③どちらともいえない ④そう思わない ⑤まったくそう思わない

- ア)日本学生支援機構からの情報提供は十分である 18ア
- イ)現在、奨学金の返還が負担になっている 18イ
- ウ)借りたものなので必ず返さなければならない 18ウ
- エ)延滞している人への回収は強化するべきである 18エ
- オ)延滞への対応がきびしい 18オ
- カ)現在の貸与型の奨学金のみでなく、給付型の奨学金が必要である 18カ

19 延滞が始まった理由(きっかけ)についてお聞きします。あてはまる番号を全て記入してください。また、その中で最もあてはまる番号を一つ記入してください。 19 最もあてはまるもの

- ①忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)
- ②返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス
- ③家計の収入が減った
- ④家計の支出が増えた
- ⑤入院、事故、災害等にあつたため
- ⑥奨学金は返還するものだとは思っていなかった
- ⑦その他()

19

20 現在も返還が遅れている理由についてお聞きします。あてはまる番号を全て記入してください。また、その中で最もあてはまる番号を一つ記入してください。 20 最もあてはまるもの

- ①本人の低所得 ②本人が失業中(無職) ③本人が学生(留学を含む)
- ④本人が病気療養中 ⑤本人の借入金の返済
- ⑥本人親の経済困難(本人が親へ経済援助しており支出が多い)
- ⑦本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)
- ⑧本人の配偶者の経済困難 ⑨家族の病気療養 ⑩忙しい(金融機関に行けない等)
- ⑪奨学金の延滞額の増加 ⑫奨学金は返還するものだとは思っていない
- ⑬その他()

20

21 今後の返還の見通しについてお聞きします。ア・イについて、それぞれ次の①～⑥の中から最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①決められた月額等を返還できると思う ②決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う
- ③決められた月額等の半額程度返還できると思う ④決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う
- ⑤返還できないと思う ⑥わからない

- ア)現在における返還の見通しについてはいかがですか。 21ア
- イ)2～3年から数年経過した時点における返還の見通しについてはいかがですか。 21イ

22 日本学生支援機構の奨学金について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い

日本学生支援機構では、より一層返還しやすい仕組みを考えるため、返還中の方を対象にアンケート調査を行っています。この調査票は日本学生支援機構（旧日本育英会）の奨学金を受け、現在返還中の方の中から選ばれた方にお送りしています。お忙しいところ恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いします。

回答については、この用紙に直接、番号などをご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、平成27年1月30日（金）までに投函してください。個々の内容について、外部にもれることや調査の目的以外に使用することは決してございません。

今後の返還方法や奨学金制度を充実させるためには、一人でも多くの方から回答をいただくことが大変重要です。重ねて本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年1月

独立行政法人日本学生支援機構
奨学金事業部奨学総務課

この回答用紙または同封の返信用封筒により個別の相談には、対応していません。
奨学金の返還について、ご不明な点は日本学生支援機構ホームページ<<http://www.jasso.go.jp>>をご覧ください。
ご相談、お問い合わせは奨学金返還相談センター 電話:0570-666-301(ナビダイヤル・全国共通)までお願いします。
また、ナビダイヤルをご利用できない場合は03-6743-6100へおかけください。

※以下の設問の中で「奨学生本人」又は「本人」とは奨学金の貸与を受けられた方のことです。

- 1 このアンケートに回答された方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 1
①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば ⑥本人の配偶者
⑦その他()
- 1-2 設問1で、「②～⑦」と回答した方にお聞きします。 1-2
回答された方について、あてはまる番号を一つ記入してください。
①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
④「①～③」の二つ以上にあてはまる ⑤「①～④」にあてはまらない ⑥わからない
- 2 奨学生本人の状況についてお聞きします。 2
本人の就労状況について、最もあてはまる番号を一つ記入してください。
①常勤社(職)員 ②常勤社(職)員(雇用期限がある) ③非常勤社(職)員(週あたりの勤務時間が短く、雇用期限がある)
④派遣社員 ⑤自営業/家業 ⑥学生(留学を含む) ⑦専業主婦(夫) ⑧無職・失業中/休職中
⑨その他()

- 3 奨学生本人に配偶者はいますか。あてはまる番号を一つ記入してください。3
 ①いる ②いない ③わからない
- 3-2 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きます。配偶者は被扶養者ですか。3-2
 ①はい ②いいえ ③わからない
- 3-3 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きます。配偶者はJASSOの奨学金の貸与を受けていましたか。3-2
 ①はい ②いいえ ③わからない
- 4 奨学生本人に被扶養者は何人いますか。4
 ※設問3-2で「①はい」と答えた方は、配偶者も人数に含めてください。
 被扶養者がいない場合は「0」と記入してください。わからない場合は無記入としてください。
- 5 奨学生本人の収入（最近1年分）についてお聞きます。あてはまる番号を一つ記入してください。5
 ①0円 ②～100万円未満 ③100～200万円未満 ④200～300万円未満
 ⑤300～400万円未満 ⑥400～500万円未満 ⑦500～600万円未満 ⑧600～700万円未満
 ⑨700～800万円未満 ⑩800～900万円未満 ⑪900～1000万円未満 ⑫1000万円以上
- 6 奨学生本人は奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。6
 ①貸与手続きを行う前 ②貸与手続中 ③貸与中 ④貸与終了時 ⑤貸与終了後～返還開始前
 ⑥返還開始～督促前 ⑦延滞督促を受けてから ⑧わからない ⑨その他()
- 7 この問は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きます。7
 進学することをいつごろ決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点
 ④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後 ⑥わからない
- 8 この問は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きます。8
 奨学金の申請をいつの段階で決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点
 ④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後 ⑥わからない
- 9 奨学金の申請をどなたかに勧められましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。9
 ①勧められた ②勧められなかった ③わからない
- 9-2 設問9で「①勧められた」と回答した方にお聞きます。9-2
 どなたに勧められたか、最もあてはまる番号を一つ記入してください。
 ①親(または祖父母等の家族、親戚) ②学校の先生や職員 ③友人・知人 その他()
- 10 奨学金を申請する時に実際に書類作成等をしたのはどなたですか。10
 最もあてはまる番号を一つ記入してください。
 ①本人が作成した ②親(または祖父母等の家族)が作成した ③本人と親等 ④わからない ⑤その他()
- 11 現在、主に奨学金を返還している方はどなたですか、あてはまる番号を一つ記入してください。11
 ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば
 ⑥本人の配偶者 ⑦その他()
- 11-2 設問11で「②～⑦」と回答した方にお聞きます。主に奨学金を返還している方について、11-2
 あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
 ④「①～③」の二つ以上にあてはまる ⑤「①～④」にあてはまらない ⑥わからない
- 12 奨学金を返還するための原資についてお聞きます。最もあてはまる番号を一つ記入してください。12
 ①給与など働いて得る収入 ②年金など ③預貯金 ④その他()



- 13 リレー口座(口座振替による返還)に加入していますか(又は、以前に加入していましたか)。あてはまる番号を一つ記入してください。13
 ①加入している(加入していた) ②加入していない
- 13-2 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きします。13-2ア
 (「②加入していない」と回答した方は設問14へ)
 ア)リレー口座の名義人はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば
 ⑥本人の配偶者 ⑦その他()
- イ)設問アで「②～⑦」と回答した方にお聞きします。13-2イ
 リレー口座の名義人についてあてはまる番号を一つ記入してください。
 ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
 ④①～③の二つ以上にあてはまる ⑤①～④にあてはまらない ⑥わからない
- 13-3 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きします。13-3
 リレー口座としてお使いの口座はどのような用途の口座ですか(でしたか)。あてはまる番号を全て記入してください。
 ①給与・年金・仕送り等収入を振り込んでいる
 ②公共料金やクレジットカードなど定期的な支払いを引き落とししている
 ③預貯金用 ④奨学金返還専用(又は準専用) ⑤その他()
- 13-4 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きします。13-4
 リレー口座にはどのように入金していますか(していましたか)。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①給与等の収入が振り込まれる ②年に数回程度必要額を入金 ③毎回又はほぼ毎回必要額を入金
 ④その他()
- 14 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延期する返還期限猶予という制度がありますが、この制度の存在をご存知ですか。14
 あてはまる番号を記入してください。
 ①奨学金に申し込む前から知っていた ②返還が始まる前までには知っていた
 ③返還が始まってから知った ④延滞督促を受けてから知った ⑤知らない
- 14-2 設問14で「①知っている」と回答した方にお聞きします(「②知らない」と回答した方は設問15へ)
 ア)返還期限猶予制度(在学猶予を除く)の利用についてお聞きします。14-2ア
 あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①利用したことがある
 ②利用しなかったが、基準に合わなかった
 ③利用したことがない
- イ)返還期限猶予制度をどこから知りましたか。14-2イ
 あてはまる番号をすべて記入してください。
 ①奨学金申請時・採用時の資料で ②「返還のてびき」を読んで ③日本学生支援機構のホームページで
 ④機構(旧日本育英会)からの通知で ⑤返還相談センターに電話して ⑥学校の説明会で ⑦連帯保証人・保証人から
 ⑧連帯保証人・保証人以外の家族・友人から ⑨債権回収会社から ⑩その他()
- 15 日本学生支援機構の制度についてお聞きします。ア～エについてそれぞれ、次の①～④の中からあてはまる番号を記入してください。
- ①よく知っている ②だいたい知っている ③あまり知らない ④知らない
- ア)減額返還制度(奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円以下が目安)等である場合、返還期限を延長し毎月の返還額を減額するしくみ)15ア
- イ)繰上返還制度(返還期日がきていない将来の返還分の一部または全額を繰り上げて返還することができるしくみ)15イ
- ウ)一定期間延滞した場合の個人情報情報機関への登録(登録は「個人情報情報の取扱いに関する同意書」提出者のみ)15ウ
- エ)スカラネット・パーソナル(インターネット上で自分自身の奨学金に関する情報や登録されている内容を閲覧したり、転居・改姓・勤務先変更等の届出ができるサービス)15エ



- 16 日本学生支援機構からお送りしている文書類についてお聞きます。
最もあてはまる番号を一つ記入してください。
①必ず見る ②だいたい見る ③あまり見ない ④見ない ⑤度といていない ⑥()
- 16
- 17 日本学生支援機構はホームページで各種情報を提供しています。
このホームページの閲覧についてお聞きます。最もあてはまる番号を一つ記入してください。
①おおよそ1ヶ月に1回以上見る ②年に数回見る ③過去に見たことがある ④見たことはない
⑤見ることができない ⑥その他()
- 17
- 18 日本学生支援機構の奨学金に対してどのようなことを感じていますか。ア～力についてそれぞれ、次の①～⑤の中からあてはまる番号を記入してください。
- ①とてもそう思う ②そう思う ③どちらともいえない ④そう思わない ⑤まったくそう思わない
- ア)日本学生支援機構からの情報提供は十分である 18ア
- イ)現在、奨学金の返還が負担になっている 18イ
- ウ)借りたものなので必ず返さなければならない 18ウ
- エ)延滞している人への回収は強化するべきである 18エ
- オ)延滞への対応がきびしい 18オ
- カ)現在の貸与型の奨学金のみでなく、給付型の奨学金が必要である 18カ
- 19 今までに奨学金の返還を延滞したことがありますか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①延滞したことがない ②延滞したことがある ③わからない
- 19
- 19-2 設問19で「②延滞したことがある」と回答した方にお聞きます。
(「①」又は「③」と回答した方は設問20へ)
- ア)延滞になったことをどこから知りました。
あてはまる番号を全て記入してください。
- ①機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知 ②機構(旧日本育英会)からの電話 ③連帯保証人・保証人からの連絡
④口座残高を確認して ⑤親・家族等からの連絡 ⑥債権回収会社からの連絡
⑦その他()
- 19-2ア
- イ)延滞をどのように解消しましたか。あてはまる番号を全て記入してください。
あてはまる番号をすべて記入してください。
- ①本人が延滞額を支払った(口座振替を含む) ②本人以外が延滞額を支払った(口座振替を含む)
③猶予願が承認された ④その他()
- 19-2イ
- ウ)延滞した場合の返還方法は主に払込票(銀行・郵便局窓口)によるもの
ですが、延滞をより早く解消できたと思われる返還方法はありますか。
もしあれば、あてはまる番号を全て記入してください。
- ①リレー口座からの引落し(延滞額の一部でも) ②機構の口座への振込み ③払込票(コンビニに支払い)
④インターネットバンキング(振込) ⑤債権回収会社 ⑥その他()
- 19-2ウ
- 20 日本学生支援機構の奨学金は主にどのように役立ちましたか。最もあてはまる番号を一つ記入してください。
①修学費に充てる金額を多くできた ②家計の負担を軽減できた ③アルバイトの時間を減らすことができた
④その他()
- 20
- 21 日本学生支援機構の奨学金について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。
-

ご協力ありがとうございました。